

久米邦武編『特命全権大使米欧回覧実記』（1878）から、図版と、本文の図版に関連する部分を抜き出したものです。

## 第一編 米利堅合衆国ノ部

### 目次

第一編 第三卷	サンフランシスコ/桑方斯西哥	2
第一編 第五卷	カリフォルニア州鉄道/加利福尼州鐵道	8
第一編 第六卷	ネヴァダ州・ユタ/尼哇達州及ヒ「ユタ」	19
第一編 第七卷	ロッキー山脈/落機山鐵道	27
第一編 第八卷	シカゴ鉄道/市高俄鍊道	36
第一編 第八卷	シカゴ鉄道/市高俄鍊道	37
第一編 第十卷	コロンビア特別区/コロンビア県	38
第一編 第十二卷	ワシントン/華盛頓	40
第一編 第十三卷	ワシントン/華盛頓	49
第一編 第十四卷	米国北部	50
第一編 第十五卷	米国北部	56
第一編 第十六卷	米国北部	63
第一編 第十八卷	フィラデルフィア/費拉特費	67
第一編 第十九卷	ニューヨーク/新約克	73
第一編 第二十卷	ボストン/波士敦	76

## 合衆国桑方斯西哥港近郡之図



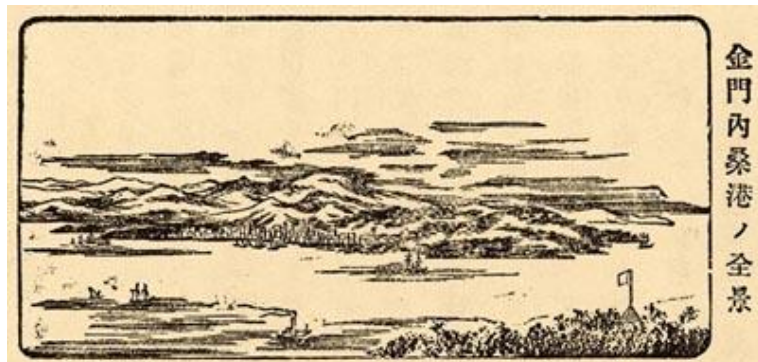
明治四年十二月六日 晴

此曉ハ、咫尺モ辨ヘヌ程ノ深霧ニテ、甲板ノ上ハ津滴ヲナスニ至ル、故ニ洋中ニシハシ船ヲ止メ、黎明ヲ待シニ、天明ニ霧モ彷彿ニ消レハ、前ニ加利福尼ノ諸山頭レタリ、頓テ旭日昇リ、船徐々トシテ進ミ行クニ、正東ニ当リ、兩峰中断ヘテ門関ノ状ヲナシ、其裏面ニマタ海水ヲタハヘ、蒸気船ノ烟ヲ噴キ往来スルヲ見ル、景色ウルハシハ、是ヲ名ニヨフ金門（英語ニテ「ゴールデンゲート」）ト云処ナリ、

二十二日ノ間、洋中ヲ渡リ来テ、扶桑ノ東ニ始テ見ル山水ナレハ、眺望スル樂サ謂シカタナシ、金門ノ形勢ハ、直西ハ大洋ヲ涵シ、兩門ノ地ハ海岸山脈ノ諸峰ソビユ、金門ノ北岬ハ「ラメルハス」山（高サ二千六百尺）起リ、南ト北ト、二脈ヲ走ラセ、其北脈ハ次第ニ低下シテ富士ノ大麓ヲ見ルカ如ク、海岸ニ迫リテ、岬トナル、其南脈ハ其嶺高カラサレトモ、黒キ岩石崩レシ様ニソハタチ、二三ノ岩礁ヲ顯ハシテ、荒磯トナリ、金門ノ北口ヲ扼ス、此ニ燈明台ヲ立タリ、又金門ノ南岬ニハ、峻峰ナシ、前ニ白沙ノ岡阜アリ、坡陀トシテ海浜ニ接シ、背ニハ遠嶂重疊シテ緑ヲ浮ヘタリ、此朝ハ霧ノ晴レシ際ニ、初テ白沙ノ山ヲミシトキハ、断霧ノ山麓ニ掛リシカト疑ヘリ、此岡ハ北ニ走リテ小巒ヲ起シ、其頂ニ細草ヲ生シ、二谷ヲ抱キテ金門ノ南岸トナリ、其砲台ハ岨角ニ起リテ屹然タリ、

両門ノ峰々皆緑樹ナシ、北門ノ山ハ、軟草青々トシテ焼痕ニ似タリ、此朝ハ海風寒ク波ハ黄色ニ渾リ、声琅々タリ、正ニ隆冬十二月ノ初メ、百草凋枯ノ候ナルニ、山々ノ草ミナ緑ヲコラシタレハ、怪ミテ其故ヲ問フニ、此海浜ニハ霜ヲ落サス、冬季ニ雨沢一タヒ潤ヘハ、山野ノ草皆一斉ニ芽ヲ出シ、乍ニ緑ヲシクトナン、異邦風土ノチカヘルコト是ニ類スルコト多シト

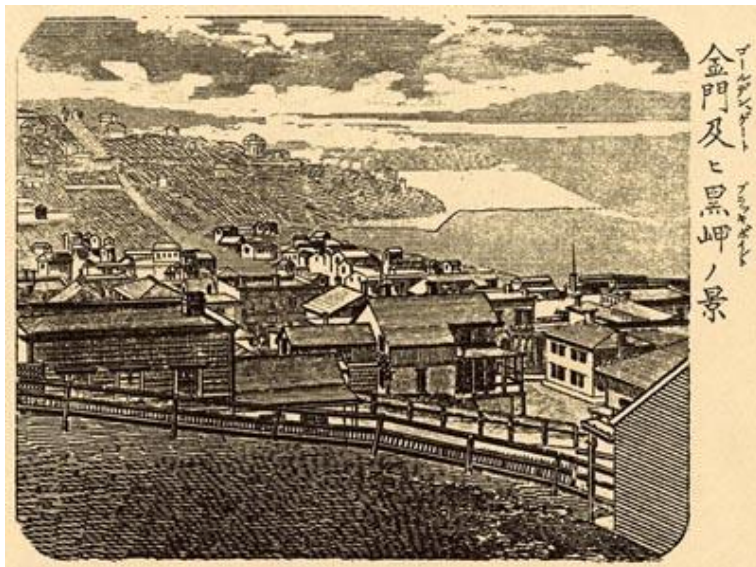
## 金門内桑港ノ全景



明治四年十二月六日

金門ノ口ハ広サ五町ニ足ラス、右ニ砲台アリ、煉火石ニテ築ケル、四段ソナヘノ方台アリ、其背ニ高岡アリ、土塙ヲ胸壁トナシ、隠シ台場アリ、其谷中ニハ兵屯ノ營所ヲ作り、電信杭ヲ連ヌ

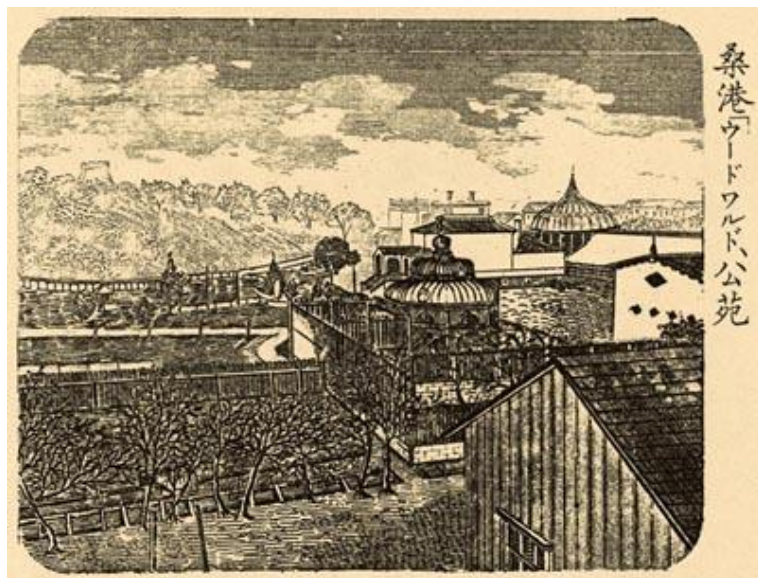
## 金門及ヒ黒岬ノ景



明治四年十二月六日

金門ノ水ハ瀬ヲナシテ流レ、潮水底浅ク、急湍ニ似タリ、是ヨリ桑方斯西哥ノ入海ハ、葫蘆ノ彎セル形ニタヘテ、北方ハ広ク、南方ハ山阜手指ヲ伸ルカ如ク、四ツノ溪谷トナリ海ニ入ル、第一ノ阜ヲ「ゴールデンゲート」トス（即チ金門）、第二ノ阜ヲ「ブラッキポイント」ト云（黒港ノ義ナリ）、此ニモ砲台アリ、背ナル山腹ニハ、木柵ヲ方形ニ環匣シ、操練場トナス、此岬ノ前ニ対シテ、一島アリ海ニ横ハル、之ヲ「アルガトラス」島ト云、島上ヲ削リテ数層ノ砲台ヲ築キ、今ニ築造中タリ、金門ノ要害中ニ於テ、此島ノ備ヘ最モ嚴重ナリ

## 桑港「ウッドワルド」公苑



明治四年十二月九日

夫ヨリ帰路ニ、「ウッドワルト」公苑ニ至ル、当府ノ南鄙ニアリ、每一人ノ木戸錢二十五「セント」、此苑ハ禽獸園草木園博物館、及ヒ藏画館ヲ兼タル場ナリ、中央ニ泉石ノ設ケアリ、山上ニ大ナル舞台アリ、此ニテ舞踏ヲナシ、或ハ見セ物ナトヲナシ、日曜日ナトハ殊ニ繁華ナリト云、

門ニ入ハ、内ニーノ楼觀ヲ建テ、此ニ動物ヲ集ム、禽獸虫豸蝴蝶卵蛋等、ミナ乾藏法ニシテ、類ヲ分チ、棚々ニ蓄フ、乾藏法トハ、禽獸魚ノ表皮ヲ剥トリ、真形ヲ生活セル時ノ如クニ製セルモノナリ、虫豸ハ火酒ニ浸シ、玻璃ニ藏ス、此楼ニ聚メタル動物ノ種類ハ、一斑ヲ備フニ過キサレトモ、亦一楼ニ充滿セリ、

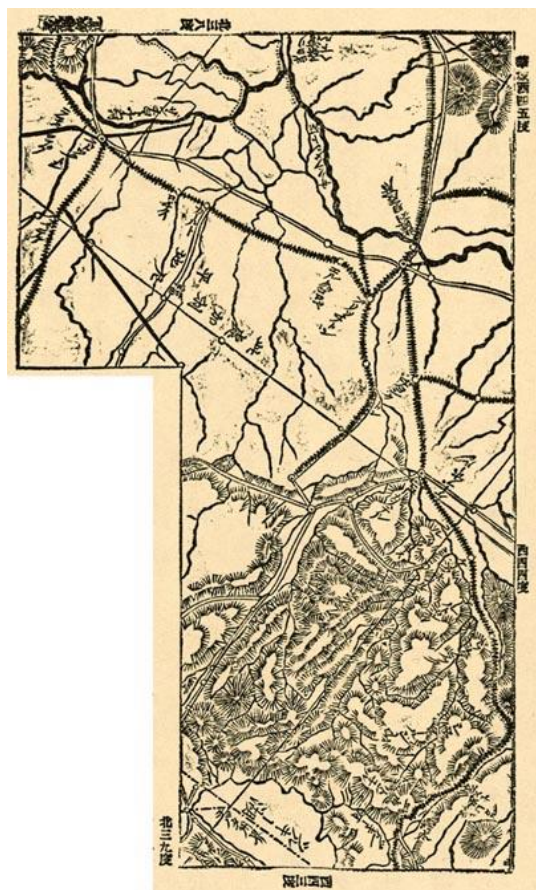
楼ノ周囲ニハ花窖アリ、鏡格ニ玻璃ヲ嵌シテ、屋宇及ヒ周壁ヲ作りタレハ、屋内ノ園圃ハ、冷熱ノ乗除自在ニテ、日光ヲ蔭セス、夫草木ノ生長ニハ、光線ト温度ト皆必要ナル故ニ、此窖内ヲ常ニ盛夏ナラシメテ、日光ヲ遮ラス、此ニ熱帯ノ樹ヲウユ、芭蕉実ヲ結ヒ、「キルク」樹陰ヲシキ、彩鳥枝上ニ囀シ、百卉芳香ヲ送ル、大小ノ窖室数字連リ、中央ノ室ニ名画数十張ヲ藏メ、又礦石貨幣蛋卵蝶繭ヲ聚メタリ、

奥ニ泉石ノ設ケアリ、池ニハ水禽ヲ養ヒ、草ニハ駝鳥孔雀ノ走ルヲミル、最奥ナル一區ニ、獸園アリテ諸獸ヲ養フ、其圈養セル所ノ獸中ニ於テ、尤モ目ヲ矚スルハ大虎ナリ、其他豹豺貉貍ナト、ミナ肥壯ナルコト野ニアルカ如シ、其内ニー一疋ノ牛アリ、其肩ヨリ一本ノ足ヲ贅

シテ下リ垂ル、又乾蔵セル獸類中ニハ、兩羊ノ一体トナリテ生セルモノアリ、造化ノ誤リ時  
アリテカ、ル物ヲ生ストナリ



## 鐵道圖



明治四年十二月二十二日

此回一行ノ官員生徒、米公使「デロンク」一家、スベテ百余人、五車ヲ雇フテ發程ス、「オハクランド」ノ波止ヨリ、棧橋ヲ渡リ、桑港東岸ノ海浜ヲ走ルコト、一時間行ニテ、東ニ折テ走レハ、海岸山ノ峽路ニカハル、一川アリテ東ヨリ来ル、蒸氣車ハ其峽ヲ走ル、山巒層々トシテ、中ニ野ヲ抱キ、農家三々五々ニ村落ヲナシ、山上ニハ頗ル樹木アリ、牛羊ひひとシテ、青草野ニシケリ、

一時間行ニテ一ノ隧道ニ入レハ、須臾ノ間ハ車中闇トナル、是ヲ走り出レハ、山脈ハ後ニ廻リ、前ニ漠然タル平地開ク、此ハ海ヲ抜ク三十尺ノ卑地ニテ、東北ハ雲ニ際シ一点ノ山ヲ見ス、青草氈ノ如ク生シ、地ノ平カナル海面ノ如ク、中ニ樹木ノ隔モナシ、聯邦誌略ノ所謂、兩山ノ間、地勢寛平、土壤肥美、長千五百里、寛百五十里（支那ノ三里ハ英ノ一里ニ当ル、一千五百里ハ五百英里、百五十里ハ五十英里ナリ）、トイフ是ナリ、此平野ニ一條ノ大河流ル、即チ「サンジヨークム」河ナリ、三百五十英里ノ長流ニテ、本州南部ノ諸河ヲ合タル巨



流ナリ、地平カナレハ、水勢モ亦緩漫ニ、処々へ溢レテ、沼池沮沢ヲナシ、猶伯禹カ出テ、水ヲシテ土中ヲ行シムルノ日ヲ待モノナリ、鉄道ノ傍ニハ、岐路ノ線ヲ分チ、数条ノ鐵路ヲ、湿艸荒蕪ノ中ニ敷タルヲミル、荒地ノ開拓ハ、運送ノ道路ヲ開クヲ、着手ノ始メトス、

午後一時ニ「ラチュロップ」駅ニ達ス、此駅ニ停車スルコト十五分時、例ニ昼食ノ駅ナリ、此駅ヨリ正東四十余英里ニテ「ヨーゼミテ」ノ山水ニトバクト云

## 「ケープ、ホールン」ノ景〈高サ三千五百尺〉

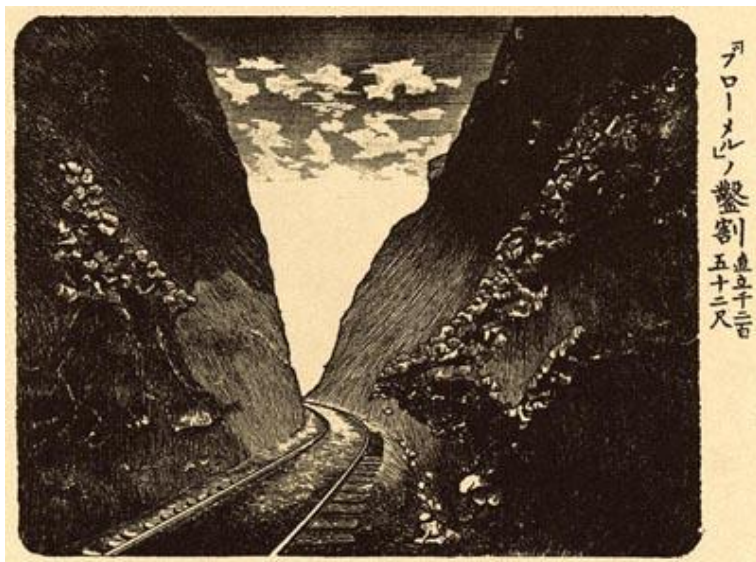


明治四年十二月二十四日

八時五十分ニ「コルハッキス」駅ニテ朝食ス、此村ノ人口千ニミタス、是ヨリ山勢益層複シ、  
鉄路ハ傾斜シ仰イテ上ル、気色甚壯ナリ、此辺ノ山ハ疎々ニ樹アリ、岩石ヲ露シ、松樹ノ類  
多シ、九時十五分ニ「ケープホールン」ノ険ニカゝル、鉄路迂回シ谿坡ヲ渡リ、時ニ高橋ヲ  
架シテ両山ヲ接連シ、山層層ニ出テ、霎時ノ間ニ六百尺ヲ上リ岩壑ノ下ニ至ル、此ヲ「ケー  
プホールン」トス（好眺ノ義ナリ）、

好眺山ノ景タル、背ニハ巖嶂壁ヲナシ、樹ヲ負フテ嶄然タリ、前ニハ深谷洞然トシ窪ク、群  
嶺ハ之ヲ環拱シ、緑樹ノ扶疎ナル象脊ニ似タリ、谷底ニ村アリ、河ハ水帶ヲヒキ、豆人寸馬  
ノ、縷ノ如キ路ヲ往来スルヲミル、此ニ姑ク停車シテ眺望ヲナス、此処ハ海平ヲヌク三千尺  
ナリト云、天方ニ雪ヲ醸シ、遠望ニ快ナラサリシヲ恨ム

## 「ブローメル」ノ鑿割〈直立千二百五十二尺〉



明治四年十二月二十四日

雨雪

午前三時ニ蒸氣車ヲ發ス、是ヨリ一軌ノ鑿道ニテ、前路ハ「シイルラネヴァタ」山脈ヲ越へ、「ユタ」部ノ漠野ヲスキ、落機山ニ赴ク、此鑿道ハ、近年竣工セル、「カントリー」太平会社ノ大建築ニテ、今車中ニ安眠シ、此ヲスキルハ、其賜ニヨルナリ、

薩府ヨリ進行五十英里ハ、猶平地ニテ、地勢漸漸ニ上リ「ニューカステル」駅ニ至レハ、已ニ海面ヲ抜コト一千尺、「ブローメルゴット」ト名クル、嶮巖ノ峽路ヲ馳行スル時ニ天曙タリ、是ヨリ岡巒重疊シテ、車行ヤ、險澁ナリ

## 「アルカトラス」島ノ砲台



明治四年十二月六日

金門ノ水ハ瀬ヲナシテ流レ、潮水底浅ク、急湍ニ似タリ、是ヨリ桑方斯西哥ノ入海ハ、葫蘆ノ彎セル形ニタヘテ、北方ハ広ク、南方ハ山阜手指ヲ伸ルカ如ク、四ツノ溪谷トナリ海ニ入ル、第一ノ阜ヲ「ゴールデンゲート」トス（即チ金門）、第二ノ阜ヲ「ブラッキポイント」ト云（黒港ノ義ナリ）、此ニモ砲台アリ、背ナル山腹ニハ、木柵ヲ方形ニ環匣シ、操練場トナス、此岬ノ前ニ対シテ、一島アリ海ニ横ハル、之ヲ「アルカトラス」島ト云、島上ヲ削リテ数層ノ砲台ヲ築キ、今ニ築造中タリ、金門ノ要害中ニ於テ、此島ノ備ヘ最モ嚴重ナリ

## 岩亭ノ景



明治四年十二月十七日

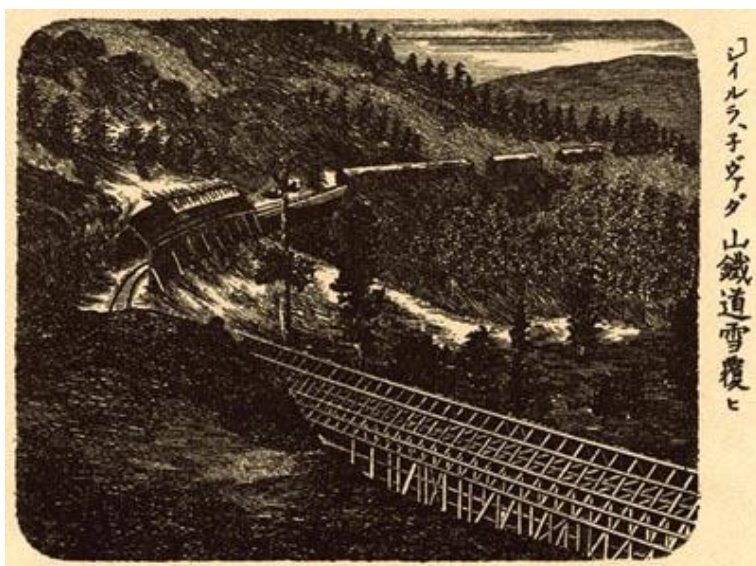
帰路ニ海浜ナル「クリフ、ハウス」ニ至ル（「クリフハウス」ハ巖亭ノ謂ナリ）、此処ハ「アグリクリュチュワル」苑ヲ距ル西方一英里ニ満タス、太平海ノ打寄ル浜ニシテ、前ニ一ノ岩礁アリテ、常ニ無数ノ海狗群リ遊ヒ、白鷗乱レ翔ル、前ハ大洋ノ潮天ヲ拍テ汪渺タリ、北ニハ金門ノ山水画クカ如シ、此ニ一亭ヲ設ケ、遊人ヲ待ツ、即岩亭ナリ、海ニ向ヒ露台ヲツクル、此亭ニ上レハ金門ノ風景、目下ニ落ち、山峻ニ海濶ク、跳波岸ヲ嚙ミ船帆鷺ノ如ク、瞻望倦マス、南ハ一帯ノ沙岡坡陀トシテ連リ、海ニ接シ湾形ノ浜ヲナス、大濤洋上ヨリ来リ、湾ニ激シテ怒リ立ツ、声鞞鞞トシテ、空ヲ掴ミ躍ル、飛沫雪ヲ灑キ、数丈ノ上ニ撒ス、遊人車ヲ駆リテ、必ス此ニ一過ヲ試ム、湿沙凝結シ輪ヲ膠セス、驚濤ニ迫リテ駆リ去レハ、波ハ奔騰シ車ニ濺カントシテ、乍逡巡シテ退ク、一來一退、真ニ壯觀ナリ、府中ノ男女、暇日ニ来リテ、盤遊ヲナス処ナリ



## 雪覆ヒノ内景



## 「シイルラ、ネヴァダ」山鐵道雪覆ヒ



明治四年十二月二十四日

前路ヨリ蒸氣車来リ、路修リタル報ヲ聞テ、一時半ニじんヲ発シ、走ルコト五英里ニテ、「サデールン」ニ至ル、此処ハ已ニ四千四百三十尺ノ高地ナリ、此ヨリ鑿道ノ傾斜益急ニ、軸車ヲ増シ、三輛連リ牽ク、「サデールン」「チューナーリンク」等ノ高山前後ヲ塞キ、雲樹森森天ニ連リ、峰々玉ヲ瑩キ、飛雪ハ風ニ從ヒ繚乱シテ、松樹ノ間ヨリ散シ、白上ニ白ヲ埋ム、山

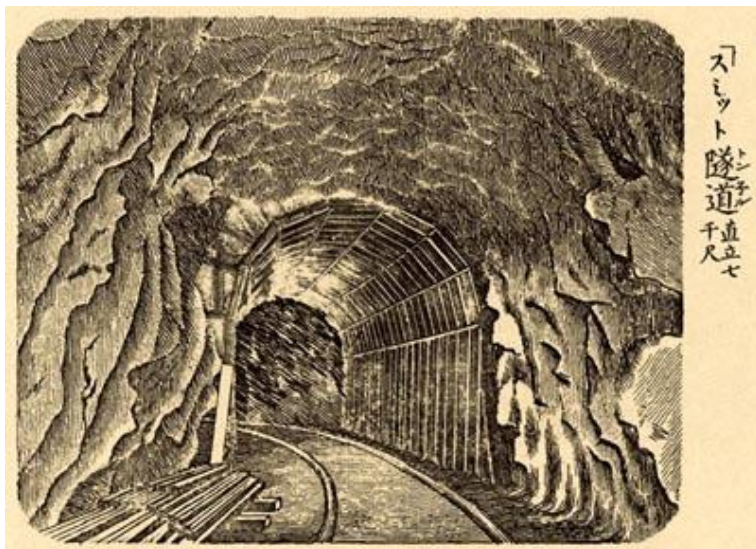


複シ路険ナレトモ、車中ニハ二重ノ玻璃ヲ鎖シ、火炉温ヲ送レハ、春風ノ中ニ銀世界ヲナカ  
メ、華毯座穩ニシテ險山ヲ越ユ、只玻璃ノ外寒ヲ遮ル、車中ノ温度ト不均ナレハ、氣息窓ニ  
蒸溜シ、眺望ヲ妨ケラルハヲ苦ムノミ、

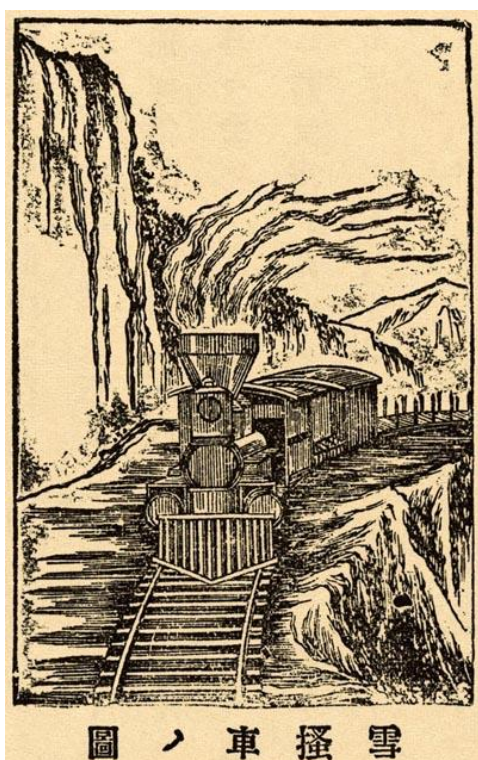
此辺ヨリ「スノーセッド」トテ、雪覆ヒノ屋ヲ鍍規上ニ設ク、其製ハ方尺許ノ木材ヲ以テ、  
八稜角ノ半形ニ釘結シ、其外ヲ板ニテ張タル亀甲屋ナリ、此雪覆ヒヲ二三英里、及至十五六  
英里、陸続ト設ク、車其内ニイレハ闇黒トナリ、洞中ヲ往クニ同シ、時アリテ板隙ヨリ雪光  
ヲミルノミ、

「サデールン」ヨリ進行スル五英里ニテ、「ウェストポータル」ノ隧道ヲ出テ、雪覆ヒ陸続  
相連リ、乍闇ク乍明ニ、如此ナルコト一時半ニテ、竟ニ数十英里ノ雪覆ヒニ入テ日暮ニ至レ  
リ、此山中ハ石炭ヲ運スルニ便ナラス、因テ薪ヲ焚テ走ル、雪覆ヒ中ニ薪ヲ積タル所アリ、  
殆ト十町ニ連ナル、山路険ニ車行鈍ク、五時間ニ進行スル僅ニ四十八英里ニテ、三千尺ヲ上  
リ、六時三十分ニ「スミット」ニ着ス

# 「スミット」隧道〈直立七千尺〉



## 雪搔車ノ図



明治四年十二月二十四日

「スミット」ハ「シイルラネウァタ」山脈ノ絶頂ニテ、海面ヲ抜コト七千〇十七尺（我千百

六十二間)、四面ノ峰巒波濤ヲタゝミ、猶天ニ秀ツルノ高峰アリ、其中腹ヲ剝鑿テ、一ノ隧道ヲツクリ、其山腹ヲ穿チイル、此駅ニ一字ノ仮屋アリ、食ヲ造リテ待ツ、此日ハ途中ノ故障ニテ昼食ニヨシナク、因テ昼夕ノ両食ヲ此ニ辨セリ、此山上ノ大雪ハ、深サ六七尺ニ及ヒ、駅舎半ハ雪ニ埋マレ、車ヲ出レハ其寒膚ヲ刮ル、此ヨリ雪搔車ヲ繋ギ、前行ノ用意ヲナス、雪搔車ハ、耜状ノ帽ヲ堅木ニ製シ之ヲ蒸気軸車ノ首ニ施シタルモノナリ、是ヨリ進行シ隧道ニ入レハ、咫尺闇黒ニテ天モ亦夜ニ入タレハ、車中ニ穩眠シテ、イカナル險坂ヲ下リシヤヲ知ラス

## 隧道ヲ出テ「ツルキー」河ヲ下ル



明治四年十二月二十五日

晴

昨夕ハ、「シイルラネヴァタ」山ノ絶頂ナル、「スミット」駅ニテ、雪搔車ヲ繋キ進轉シ、大隧ノ中ニイレハ、暗暗タル永夜ニテ、此日ハ其儘ニ暮ニケリ、汽笛咽ヒテ輪響ト乱レ、軌道ヲ滑轉シ、穩眠中ニ絶壁ヲ穿チテ、背後ニ馳出ルハ、実ニ神鑿鬼工ヲ欺ク、李太白カ蜀道難ニ、地崩山碎壯士死、而後天梯石栈相鈎連ト賦セシモ、是ニハ勝ラシ、「シイルラネヴァタ」山脈ハ、此ヲ脊高ノ処トナシ、進行十一英里ノ間二千百七十尺ヲ下レハ、即一水ノ淙淙トシテ玉ヲ戛シテ流ルヲ聞ツハ、「ツルキー」駅ニ達ス、此ヨリ「ネヴァタ」州ニ入ル

## 鉄道図



明治四年十二月二十五日

「ツルキー」駅ヨリ、奔流ニソフテ下リ走ル、之ヲ「ツルキー」河トイフ、流勢甚壮ナリ、其源ハ山上ノ大湖ヨリ来ル、湖ヲ「ツルキー」湖トイフ、是ヨリ流レテ連峰ノ間ヲ下リ、「ツルキー」駅辺ヨリ鉄路ト共ニ流レ去ル響ハ松籟ニ和シ、常ニ颯沓ノ音アリ、山ハ玉笋ヲ連ネ、去天不盈尺ノ勢アリ、其勝景実ニ壯絶スト、恨ラクハ黑夜ニテ、之ヲ眺覽スルヲ得サリシヲ、進行七十英里ニテ、河ハ北流シテサリ、鉄路ハ「ワットスウォルチュ」山駅ニ達ス、此河ハ是ヨリ北シ、「ペーラミ」湖ニ奔注ス、此湖ハ水面積六百方英里ニモ及フ大湖ニテ、「ツルキー」河水、日夜滔々トシテ注ケトモ、依然トシテ溢ルハナク、亦尾閭ノ漏口ナシト、天ノ山水ヲ排置スル地底ニ於テ如何ナル奇脈ヲ伏セルヤ、

「ツルキー」山駅ヨリ、「ワットスウォルチュ」マテ、地勢下ルコト一千七百七十尺、此山坡ヲ越エ、「ネバタ」ノ大野トナルマテ、夜中ニ經過シ、景況如何ヲシラス、夫ヨリ尚四十五英里ヲ走り、「プロウェン」ノ小駅ヲ過ルトキ味爽トナレリ、車窓ヨリ望メハ、茫蕪タル荒野ニ、山嶺散起シ、昨夜ノ大積雪モ、イツノマニカ已ニ夢ヲ隔テ、只山頂ニ斃斑ノ白ヲトハメルノミ、野ニ片雪ノ痕ヲミス、此辺ノ野ハ水面ヲヌク四千尺ノ平地ナリト云、

是ヨリ進行スレハ、「バンボールド」河、鉄路ト相左右シテ東ス、二時間行ニテ「バンボールド」村ニ達ス、停車二十分時、朝食ヲ辨ス、此辺ヲ「バンボールド」ノ荒野ト名ク、元亜墨利加沙漠トイヒシ所ナリ、四顧ノ山嶺ハ、処々ニ散起シ、爾爾タル枯草天ニ際シ、山ニ一樹ナク、谿ニ一泉ナシ、河流散漫シ、四モ人家ヲミス、李華カ弔古戰場文ニ平沙無垠、夔不見人、河水周帯、群山糾紛、其景況真ニ迫ルヲ覺フナリ



## 鉄道図



明治四年十二月二十五日

「バトルモンテン」ヲ発車シテ後モ、猶漠々タル荒野ヲ走ル、群山糾紛シ、目ヲ極ムレハ、矮草秋風ニ枯テ、蒼然タルコト黴ノ如シ、絶テ生氣ナシ、時ニ印甸土人、窟穴ヲ其叢中ニ構へ、十英里ニ一ノ小駅アリ、居民ノ景況ハ、荒島流竄ノ況概アリ、往々ニ支那辮髮民ノ住スルヲミル、両広福建ノ民ハ、遠海ヲ渡リテ生理ヲナスモノ夥多ク、金山ノ発見ヨリ米国ニ航渡スルコト、年々ニ盛ナリト聞シモ、此遼遠ノ荒野ニマテモ、徙住シタラントハ意サリキ、

此辺ノ野ハ、土質虚疎ナルコト灰ノ如シ、土ヲ掘タル跡ニハ、五寸ナラスシテ赤石磊磊トシテ出テ、曾テ潤沢ノ氣ヲ帯ヒス、地理家之ヲ相シ、此地ノ元始ハ、火山ヨリ噴出セル焼土ノ成タル地ナラント謂ト、山脈ハ離散シ、東ニ聳レハ西ニ伏シ、西ニ横レハ東潤ニ、遠山落々トシテ連嶂ヲミス、雪色斑然、終日生樹ヲミス、

二時半ニ「ペリサッデ」村ニ至ル、「ハムボールト」河ハ、此ニ至リ幅三百尺許ナリ、山嶺漸ニ合シ、河水峽ヲ分テ流ル、河岸ニ水楊樹ヲ生ス、其暢茂セルモノ二尺ニスキサレトモ、河浜ノ地ハヤハ潤ヲ含メルニ似タリ、一部ノ村落アリ、「テント」ヲ張テ家トセルアリ、或ハ土磚ヲ積テ依様ニ瓦壁ヲナセルアリ、又木材ノ屋ニ鉛漆ノ皎然タルモアレトモ、此辺ノ漠野ハ数百英里ノ間ニ、絶テ樹木ナキ赤土ナレハ、材ヲ運輸スルノ路程遠ク、価不貲ナレハ、多クハ木材ノ屋タニモ造ル能ハス、生意ノ艱モ亦甚シ、尚此一村ヲナスハ、移民イカナル生計ヲナシテ、此ニ住スルヤ驚クニ足ルナリ、

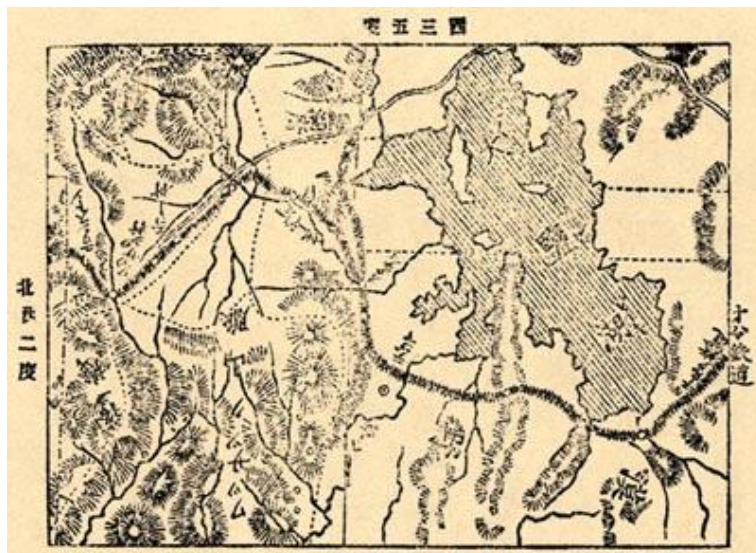
此村ヲ過レハ河峽益局東シ、山巖屏ヲ立ルカ如ク、僅ニ一河ノ流レヲイルハノミ、鉄路ヲ架スルトキ、其山足ヲ鑿破シ、一条ノ路ヲ開ケリ、故ニ往々ニ山上ヨリ、岩石壞崩シテ落ルアリテ、鉄路ヲ圧シ人ヲ傷ルコトアリ、修繕ニ勞多キヲ以テ、今マサニ別ニ地ヲ相シ、路線ヲ改メンコトヲ測量スルト云、此ヲ「ペリサッデ」ノ峽路トイフテ、鉄道中ノ一勝景タリ、両崖ノ山嶺々トシテ聳へ、其最高キハ一千五百尺ニ及フ、峽河ハ水清ク流穩カニ、遠嶂影ヲ倒



ニシテ巉岩ヲ浸シ、村民時ニ小艇ヲウツテ流ニ溯ルアリ、鐵路ハ是ヨリヤ、高地ニツキ河流ト別ル、

五時ニ「エルコ」駅ニ達ス、停車スルコト半時、此ニテ晩食ヲ辨ス、「エルコ」ハ此辺ノ一庶村ナリ、人口三千ニ及ヒ、市街ヲナシテ頗ル較美ノ屋モアレトモ、四鄙ノ矮屋ハ「ペリサッテ」一般ノ光景ナリ、此村ニ石炭ヲ出ス、蒸気車ノ必需ナレハ、鐵路ト共ニ繁昌スルト云、停車ノ間ハ村辺ヲ逍遙シ、夫ヨリ発車スル一英里行ニテ日没ス、此辺ヨリ又地上ニ斑雪ヲミル、今朝過タル「ブロウエン」ノ野ハ、水面ヲヌクコト四千尺ノ地ナリシニ、「パウルモンテン」マテニ五百尺ヲ上リ、此ニテハ已ニ千尺ヲ上レリ、是ヨリ百十英里ヲ走り、夜半ニ「テコマ」駅ヲスキ、「ネバタ」州境ヲツクシ、「ユタ、テリトリー」ノ境ニ入レリ、「ツルキー」ヨリ「テコマ」マテ、「ネヴァタ」州ノ境ハ、鐵路スヘテ四百六十三英里、桑港ヨリ七百二十四英里

## 鉄道図



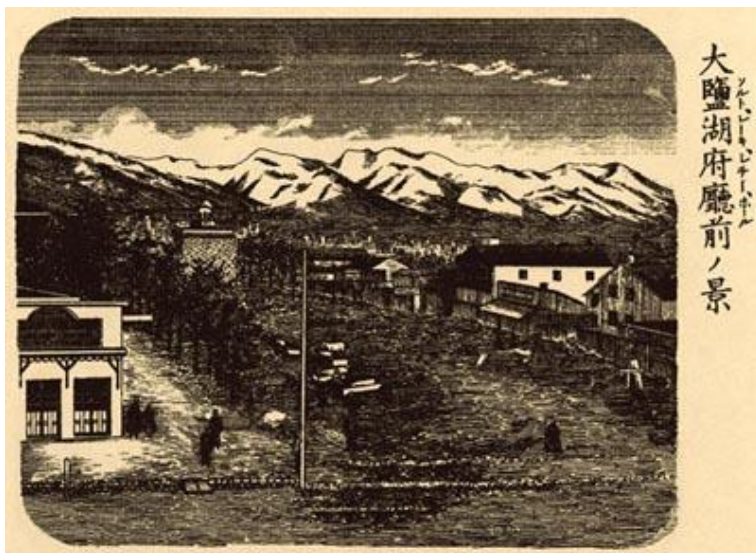
明治四年十二月二十六日

「ソールト、レイキ」ハ塩湖ト訳ス、塩湖ハ此辺ノ小海ナリ、凡「ネヴァタ」山以東、落機以西ノ大漠野ハ、四至皆山ニテ、水ノ大洋ニ注入スル処ナシ、湖ヨリ流レ湖ニ注キ、源頭アリテ尾閭ナシト云、塩湖ノ水面積ハ総テ二千百万方英里ニ及フ、大略方形ヲナシ、中ニ山岬ヲ斗出シ、四島四嶼ヲ点綴ス、其最豁ナル処ヨリ、向岸ヲ望メハ、一碧天ヲ浸ス、環湖ノ山ハ、ミナ巉嶄タル岩嶂ニテ、土色黄赤ニ草木ヲ生セス、枯燥シテ潤沢ナシ、皴皴ハ奇劈ヲ露シ、湖ニ映シテ気色ヲナセトモ、索然トシテ風致ナシ、四顧ノ野ハ、蒼々莽々トシテ、漠野ノ光景、殊ニ荒蕪ヲ覚ヘタリ、

此湖ハ塩鹵ノ脈ヲ鍾メ、其水甚鹹ニ、鱗族モ生息スルヲ得ス、土耳其ノ死海モ其鹹ヲ譲ルトナリ、凡洋海ノ潮ハ、至テ鹹ナルモ、百分中ニ三分ノ塩ヲ含ムニスキス、此湖ハ百分ニ二十五ノ塩ヲ含ムトナリ、塩ハ「コロール」〈気質〉ト曹達〈土質〉トノ抱合ニテナルモノナリ、其源ハ陸ニアリ、水ニ溶化セラレテ海ニ入ル、海水ノ鹹味ハ、元陸地ヨリ送ルナリ、此湖浜ノ地ニ、塩ノ結晶塊ヲ处处ニミル、漢土涼州ノ漠野ニ、石塩ヲ沙中ヨリ出スコト、古、地誌ニ載タリ、塩ハ陸地ニ生シ海ニイル、元來陸地ノ産物ナリ〈後新約克ノ塩坑、英国「チュスター」ノ条ニ塩岩ヲ記スルヲ見ヨ〉、

「オクデン」ヨリ、塩湖ノ東南ヲ走り「ウェーベ」河ヲ越ヘ、湖浜ノ野ヲユケハ、湖上ノ岬島ニ山峰乱立シ、湖水鏡ノ如ク、車走レハ山移リ、頗ル眺望ニヨロシ、三十五英里ヲ走りテ、塩湖府ニ達ス

## 大塩湖府庁前ノ景



明治四年十二月二十八日

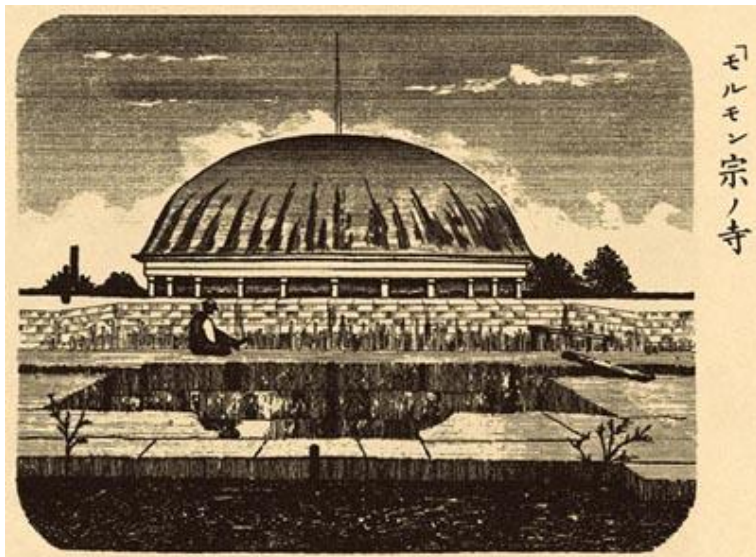
陰寒、室外ノ空氣二十八度、夜雨フル

此日当「テリートリー」政庁ニ至ル、「テリートリー」ハ部ト訳ス、政府ノ開拓地ト謂シカ如シ、

「ユタ」部ハ、一千八百五十年国会ノ議決ニテ、「テリートリー」ノ治ヲ開キタリ、凡ソ合衆国ハ、各州聯合シテ一國ヲナセルモノニテ、各州ニハ州憲（「ステート、コンステチューション」）ヲ設ケ、其州民ヨリ統領ヲ推挙シ、政府ヲ建テ、各自主ノ政治ヲナス、国内ニテハ儼然タル獨立國ナリ、外國ニ対スレハ共同シテ之ヲ待ツ、故ニ大政府ハ州々ヨリ共設セルモノニテ、州々ハ大政府ヨリ建タルモノニ非ス、未タ州ヲ成スニ至ラサル開拓地ハ、官有トシ、国会ト大統領トノ預リニシテ、大政府ヨリ一人ヲ択ヒテ統領トナシ、其下ニ於テ、部中ノ住民ヨリ撰ミテ、立法官ヲ置クマテニテ、国会ヘ議員ヲ出ス權ナシ、只一人ノ代權人ヲ出シ其部ニカハル議事ノミ發論ヲ許サル、

此日部ノ統領、府ノ知事等、官吏百余人ト、庁中ニ會語シ、「スピーチ」アリ、夫ヨリ当部ニテ第一ノ豪家「ゼユン」氏ノ家ニ至ル、主人酒果ヲ供ス

## 「モルモン」宗ノ寺

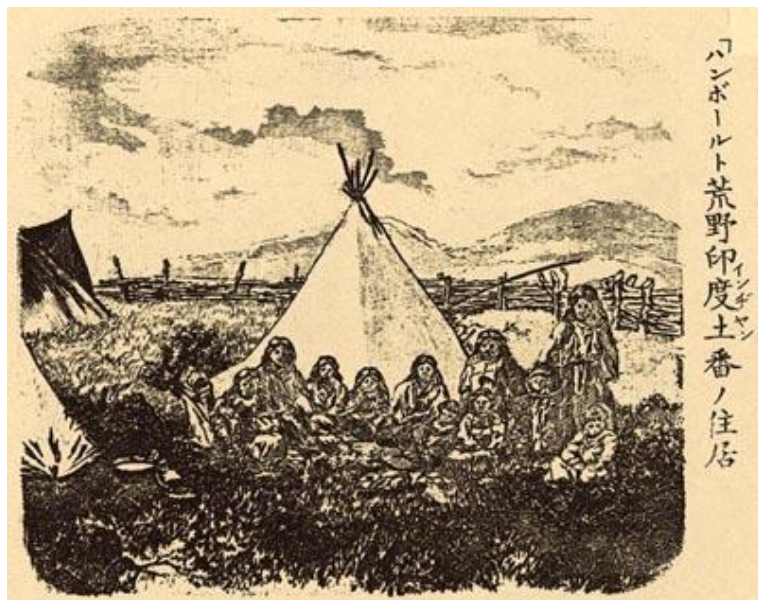


明治四年十二月二十八日

帰路ニ「モルモン」宗ノ大寺ニ至ル、此寺ハ石ヲ以テ柱トシ、板ヲ以テ屋根トシ、楕円形ニ築キ起シ、長サ二百五十尺、幅百五十尺、広キ堂内ナレト、中ニ一柱ナシ、一万二千人ヲ座セシムヘシ、正面ニ風琴ヲ仕掛ケ、三面ニ回楼ナリ、

此堂ノ側ニ又地ヲ鑿リ石ヲ疊ミテ、一大堂ヲ起サント、基礎略成レリ、其規模ハ更ニ此堂ヨリ広大ナリ、「モルモン」ノ信徒ハ、スヘテ二十万人ニコヘストナン、然ルニ山陬ノ荒都ニモ、カハル大寺ヲ起ス、西洋ノ人、宗教ヲ信シ、其寺ノタメニ金ヲ齎スルヲ惜マサルコト、是ニテモ察スルニ足ナリ

## 「ハンボールト」荒野印度土番ノ住居



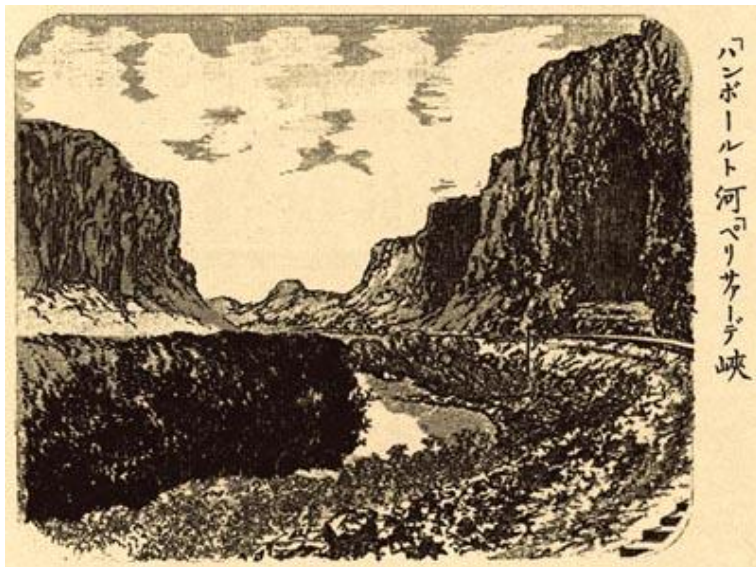
明治四年十二月二十五日

此辺ハ印甸土人ノ住処ニテ、窟宅ヲ構ヘタルヲ、車中ヨリ時々ミルコトアリ、窟宅ハ荒草中ニアリ、草ヲ束シ其上ヲ塔形ニ覆フ、窟内ノ景ハ如何ナル状ナリヤト、之ヲ知ル人ニ問ヒシニ、曰ク、恰モ球状ヲナセリ、半球ハ地下ニアリ、半球ハ地上ニアリト、古昔我日本ノ民モ、亦穴居ノ俗ナリシコト、古史ニ土蜘蛛ノ事ヲ記シタルニテ知ラレタリ、又西国ノ山中ニハ、石窟ノ処々ニ存スルヲ、土俗ニ鬼ノ窟宅ト唱フ、蜘蛛トイヒ鬼神トイフハ、皆混濛ノ世、豪悍ノ夷民ヲ称スル名ニテ、当時穴居ノ景況モカクヤアリヌラン、文明開化ノ地ヲスキ、此曠古蒙昧ノ域ヲ渉ル、俯仰ミナ耳目ノ感ヲ増コト多シ、

此辺スヘテ印甸土人ノ領地ナリシニ、近年ニ至リ米人驅テ地ヲ奪ヒシユヘニ、土人ミナ怨憤シ、今ニ報復セントスルノ心タヘス、鉄道ノ初テ成リシ頃ハ、土人嘯集シテ、之ヲ破碎シ、或ハ大石ヲ压シ、種々ニ妨害ヲナシ、怒レハ毒矢ヲ挾ミテ、行旅ヲ射ルニ至レリ



## 「ハンボールト」河「ペリサアード」峽



明治四年十二月二十五日

二時半ニ「ペリサアード」村ニ至ル、「ハンボールト」河ハ、此ニ至リ幅三百尺許ナリ、山嶺漸ニ合シ、河水峽ヲ分テ流ル、河岸ニ水楊樹ヲ生ス、其暢茂セルモ二尺ニスキサレトモ、河浜ノ地ハヤ、潤ヲ含メルニ似タリ、一部ノ村落アリ、「テント」ヲ張テ家トセルアリ、或ハ土磚ヲ積テ依様ニ瓦壁ヲナセルアリ、又木材ノ屋ニ鉛漆ノ皎然タルモアレトモ、此辺ノ漠野ハ数百英里ノ間ニ、絶テ樹木ナキ赤土ナレハ、材ヲ運輸スルノ路程遠ク、価不貲ナレハ、多クハ木材ノ屋タニモ造ル能ハス、生意ノ艱モ亦甚シ、尚此一村ヲナスハ、移民イカナル生計ヲナシテ、此ニ住スルヤ驚クニ足ルナリ、

此村ヲ過レハ河峽益局束シ、山巖屏ヲ立ルカ如ク、僅ニ一河ノ流レヲイルハノミ、鉄路ヲ架スルトキ、其山足ヲ鑿破シ、一条ノ路ヲ開ケリ、故ニ往々ニ山上ヨリ、岩石壞崩シテ落ルアリテ、鉄路ヲ圧シ人ヲ傷ルコトアリ、修繕ニ労多キヲ以テ、今マサニ別ニ地ヲ相シ、路線ヲ改メンコトヲ測量スルト云、此ヲ「ペリサアード」ノ峽路トイフテ、鉄道中ノ一勝景タリ、両崖ノ山嶺々トシテ聳へ、其最高キハ一千五百尺ニ及フ、峽河ハ水清ク流穩カニ、遠嶂影ヲ倒ニシテ巉岩ヲ浸シ、村民時ニ小艇ヲウツテ流ニ溯ルアリ、鉄路ハ是ヨリヤ、高地ニツキ河流ト別ル



## 「ウアスアチュ」山峽

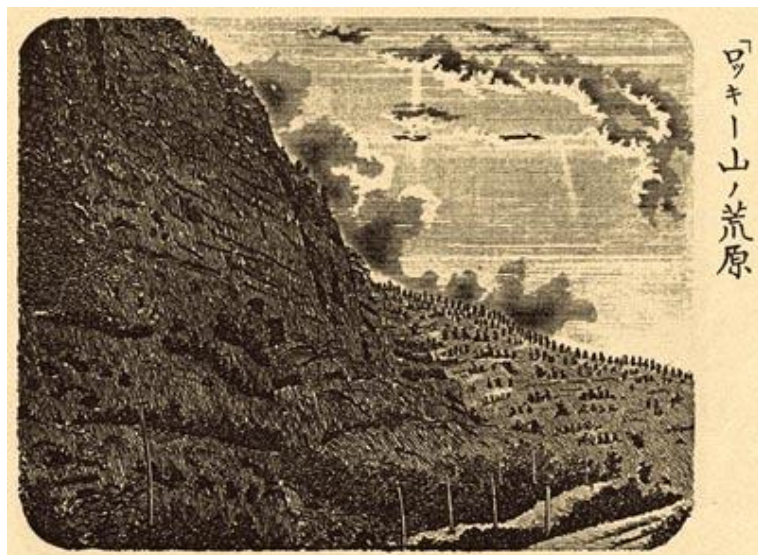


明治五年一月十四日

「エコー」ヨリ鐵道ノ傾斜ヲマシ、時ニ洞道ヲスキ、又ハ山崖壁立ノ間ヲスク、二十五英里間ニ、一千三百尺ヲ上リ、一村駅ニアフ、此ヲ「ワッサック」山村トス、亦一ノ勝景ノ地ナリ、時ニ日ハ已ニ暝シ、飛雪モ初メテ晴タレハ、寒月洗フカ如ク、清輝ノ峰々ノ岩稜ニカハヤキタルハ、白刃ノ上ニ照ヤト疑ハレタリ、両崖ノ山ハ、尽ク巖崖ニテ、草木ヲ生セス、雪ニ気色ヲソヘ、近ク車窓ニ迫レハ左右ニ顧眄シテ倦ヲ忘ル、山路危兀トシテ傾斜甚タ急ニ、車行渋クシテ穩カナラス、「ワッサック」村ハ此山ノ絶頂ナレハ、海平ヨリ六千八百八十尺ノ高地ニテ、「オクデン」ヨリ六十七英里ノ間ニ二千五百余尺ヲ登リ来レリ、此ハ名ニオフ落機ノ麓ナレハ、其峻キモコトハリナレト、抑モ落機ハ至大ノ山脈ニテ、広キ地域ニ蔓延シタルユヘ、山上モ曠平ノ原ヲナシタル処ノミ多ク、殊ニ其脈ノ散漫セル地ヲ測量シテ、鐵道ノ線ヲ定メタレハ、前日ノ「シイルラネヴァタ」山ヨリモ、險隘ハ反テ少シ、只此西麓ノミ、彼ニ次ク土功ヲ勞シタリト、此ヲ少シ下レハ、六七千尺上ノ平原トナル、是ヲ落機山上ノ原トスルナリ、

「ワッサック」ヨリ進行スル九英里ニテ、四十五尺ヲ下リ、「エヴァンストーン」駅ニ達ス、此ハ通常三十分時ヲ停車シテ、晩食ヲ辨スル所ナリト、此日ハ前路六十英里ノ地ニ流ル、「グレイン」河ニ雪融ノ水汎濫シテ、鐵道ヲ蕩壞シ、修繕スルトノ電報アリタレハ、又此ニ停車シテ、今夜ヲアカセリ、此「エヴァンストーン」マテヲ、「ユタ」部ノ域内トス、是ヨリ前路ハ「ウアイオミンク」部ニ入ル

## 「ロッキー」山ノ荒原



明治五年一月十四日

「エコー」ヨリ鐵道ノ傾斜ヲマシ、時ニ洞道ヲスキ、又ハ山崖壁立ノ間ヲスク、二十五英里間ニ、一千三百尺ヲ上リ、一村駅ニアフ、此ヲ「ワッサック」山村トス、亦一ノ勝景ノ地ナリ、時ニ日ハ已ニ暝シ、飛雪モ初メテ晴タレハ、寒月洗フカ如ク、清輝ノ峰々ノ岩稜ニカハヤキタルハ、白刃ノ上ニ照ヤト疑ハレタリ、両崖ノ山ハ、尽ク巖崖ニテ、草木ヲ生セス、雪ニ気色ヲソヘ、近ク車窓ニ迫レハ左右ニ顧眄シテ倦ヲ忘ル、山路危兀トシテ傾斜甚タ急ニ、車行渋クシテ穩カナラス、「ワッサック」村ハ此山ノ絶頂ナレハ、海平ヨリ六千八百八十尺ノ高地ニテ、「オクデン」ヨリ六十七英里ノ間ニ二千五百余尺ヲ登リ来レリ、此ハ名ニオフ落機ノ麓ナレハ、其峻キモコトハリナレト、抑モ落機ハ至大ノ山脈ニテ、広キ地域ニ蔓延シタルユヘ、山上モ曠平ノ原ヲナシタル処ノミ多ク、殊ニ其脈ノ散漫セル地ヲ測量シテ、鐵道ノ線ヲ定メタレハ、前日ノ「シイルラネヴァタ」山ヨリモ、險隘ハ反テ少シ、只此西麓ノミ、彼ニ次ク土功ヲ勞シタリト、此ヲ少シ下レハ、六七千尺上ノ平原トナル、是ヲ落機山上ノ原トスルナリ、

「ワッサック」ヨリ進行スル九英里ニテ、四十五尺ヲ下リ、「エヴァンストーン」駅ニ達ス、此ハ通常三十分時ヲ停車シテ、晩食ヲ辨スル所ナリト、此日ハ前路六十英里ノ地ニ流ル、「グレイン」河ニ雪融ノ水汎濫シテ、鐵道ヲ蕩壞シ、修繕スルトノ電報アリタレハ、又此ニ停車シテ、今夜ヲアカセリ、此「エヴァンストーン」マテヲ、「ユタ」部ノ域内トス、是ヨリ前路ハ「ウアイオミンク」部ニ入ル

## 「エコー」山村「ウェーブル」河

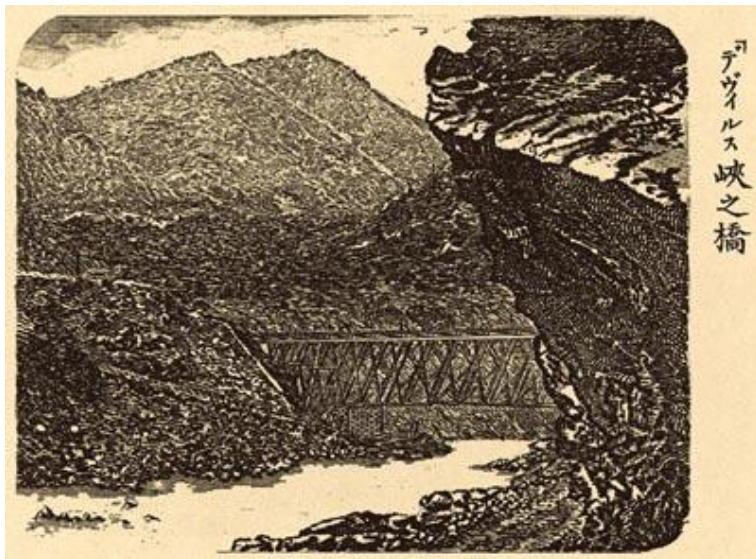


明治五年一月十四日

陰

前路定メテ修マリタル報アリ、九時五十分ヨリ塩湖ノ旅館ヲ発ス、午後ニ「オクデン」駅ニ達ス、此ハ「カントリー」太平会社ト、哈馬哈ノ「ユニオン」会社ト、繼替ル駅ニテ、数時ヲ移シ、且庖車〈ダイニンクカール〉二輛ヲ繋キ、車中ニ食ヲ辨スル用意ヲナシ、四時三十分ニ発車ス、此処ハ海平ヨリ四千三百尺ノ原野ニテ、進行十余英里ハ、猶平地ナリ、「ウェーベ」河ニ随ヒ走りテ、漸漸ニ「ワッサック」山ニ近ツク、即落機大山脈ノ西麓ナリ、山野ニ樹木ヲ生シ、峰峰ニ岩壑多シ、「ウェーベ」河ニソヒ、一帯ノ平地開ケ、此日天陰リ雨ヲ降シ、眺望朗ナラス、山路ニ近ツクトキ、雨モ雪トナリテ紛飛シ、野ニハ玉屑ヲシキ、山ニハ麁斑ヲナシ、景色モウルハシク、回ル車ノ疾キヲ惜メリ

## 「デヴィルス」 峽之橋

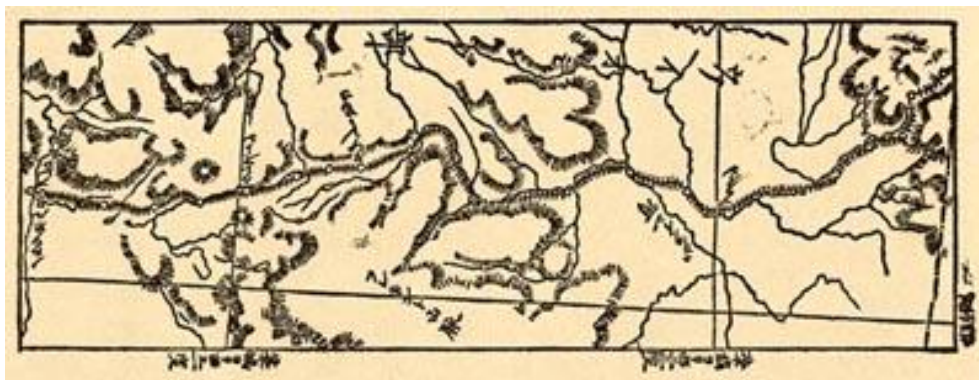


明治五年一月十四日

雲日モ猶黄昏ニ際セサルニ、車中頓ニ黑夜ヲナス、驚キ視レハ、岩石ノ壁立シタル峽路ヲ過ルナリ、此ヲ「デヴィルスゲート」ト名ク、天然ノ洞道ナリ



## 鐵道圖

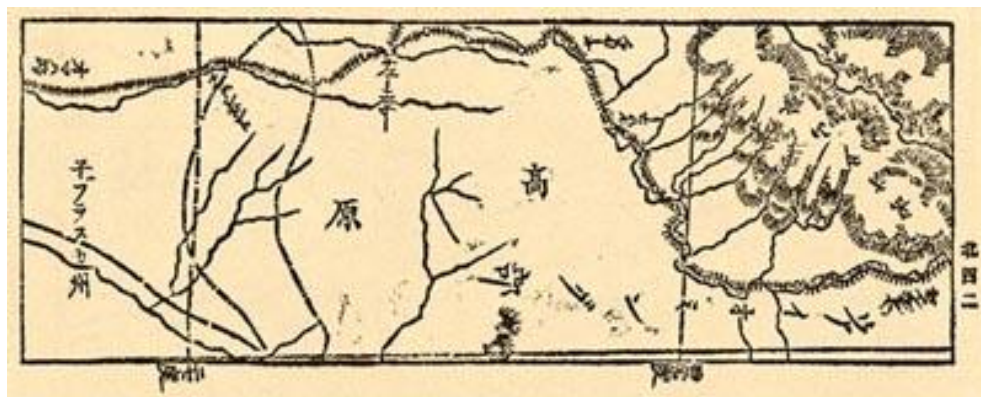


明治五年一月十五日

「エヴァンストン」ヲ過レハ、山上ニ原野ヲ開キ、地勢漫ニ低下スレトモ、恰モ坦途ヲ走ルニ異ナラス、扱原野ノ光景ハ、岡坡浪ヲナシテ、洋海ヲ渡ルニ彷彿タリ、土色ハ黄黒ニテ、疎々ニ草ヲ生シ、一樹ダニミエサル、漠々ノ曠野ナリ、時々ニ雪覆ヒノ中ヲスキルノ外ハ、目ヲ遮ル人家モナク、只電信杭ヲ鐵路ノ傍ニ連ネタルヲ見ノミ、五十英里ヲユキ、「ブリッヂェル」辺ヨリ、岡坡ノ起伏益縵ニシテ、遙ニ岡巒ノ見ユル趣キハ、大洋中ノ浪ニ異ナラス、更ニ五十英里ヲユキ、「ブライン」駅ニテ車中ニ昼食ス、時ニ午後一時ナリ、

此辺大率高サ六千三四百尺ノ高原ニテ殆ト坦平ナリ、処々ニ潮痕ヲ帶タル新泥石ヲミル、浜海ノ湿野ヲスキルガ如シ、地学家ノ説ニ、是元初ハ海中ヨリ涌起シタル地ナルヘシト云、此日ハ雪晴ニテ日光甚澄清ニ、午後ヨリ、地上ノ雪モ、大概ニ融テ、窪地ニ行潦ノ流レヲ鍾メテ、川ヲナシ沼ヲナシタルハ、斥鹵ニ始テ潮ノ退キタルニ異ナラス、終日駿走シテモ、曾テ目ヲ遮ル樹モナク、又空ニ翔ル鳥モミス、只蒼蒼莽莽タル荒艸中ニ、鉄軌ヲ一條シキタルノミ、毎数十英里ニ駅舎兩三アリ、男女住居シテ、食果ヲ備ヘ、酒漿ヲ具シ、車客ニ売与フ、屋傍ニハ地ヲ開鋤シ、牧畜樹芸ヲナシ、少シク村落ノ景ヲナセリ

## 鐵道図



明治五年一月十六日

牢晴

今朝「ルワメー」ヲスキル時日出ス、今ハイカハナル地ヲスキルニヤト、車窓ヨリ覗へハ、「ルワメー」村ノ人家数十戸アリ、屋造頗ル大ニ、閭里ノ景況ヲナス、是ヨリ雪覆ヲクハリ、地勢遽ニ上ル、「セールメン」ニ至ル時、車中ニ朝食ヲ辨ス、

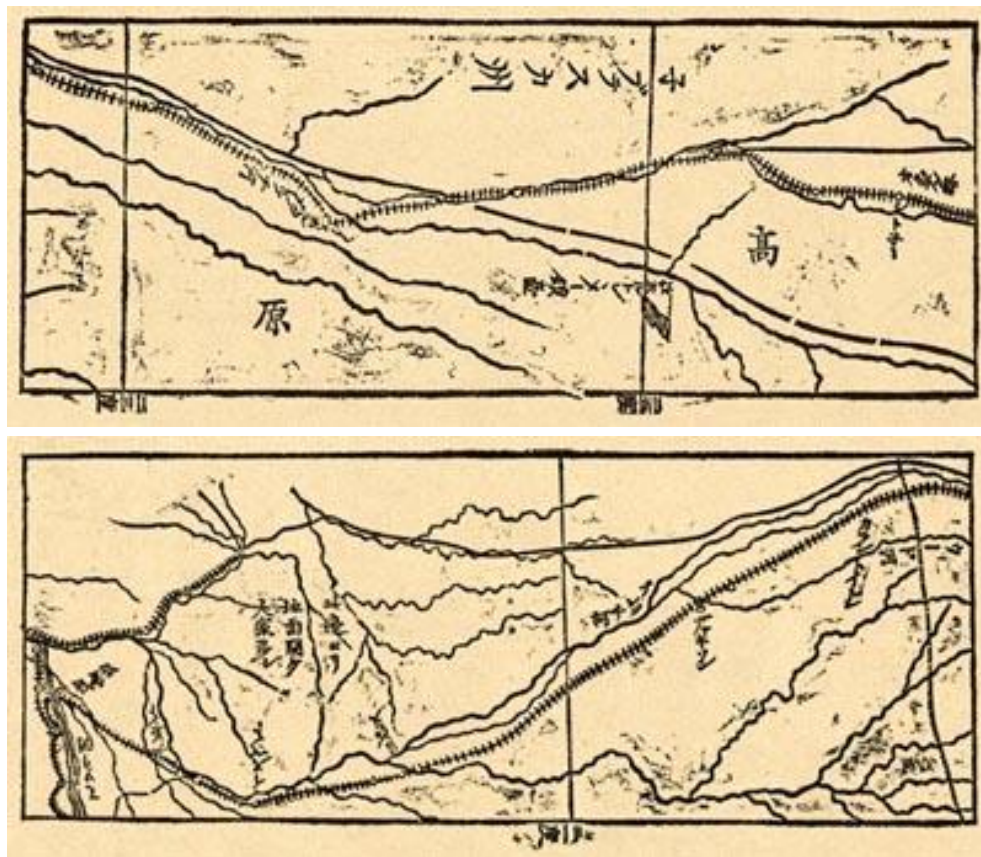
「セールメン」ハ落機山鑿道ノ最高頂ニテ、水面ヲ抜、八千二百四十尺（我二十八町）ノ高山上ナレトモ、猶高平ノ原ヲナシ、岡坡ノ縵ニ起伏シタルハ、恰モ平地ニ異ナラス、土色ハ黄黒ニシテ細草ヲ生セリ、鑿道ノ左ニハ横理ノ石アリ、処々ニ堆累シ、其間ニ矮松ヲ生シ、林園ノ風致ヲナシ、頗ル幽雅ナリ、塩湖ヲ發シテヨリ、枯草ノ原ノミヲ走り来リ、此絶巔ニテ、反テ緑葉ノ樹ヲ見ルトハ殊ニ奇ナリ、南方ハ曠原茫々トシテ、四五十英里モ隔テ、遙ニ一脈ノ青巒ヲ見ルハ、「ボオウ」山峰ナリト云、此頃ハ連日ノ晴天ニテ、途上ノ積雪モ、皆消テ痕ヲモ留メス、彼高峰ノ頂モ斑雪ヲミス、青霄ニ藍青ヲコラセリ、

「セールメン」ノ絶頂ヲスキ、稍下レハ「セルメン」村アリ、亦一箇ノ村落ヲナセリ、是ヨリ落機山ノ東麓ヲ下ル、山勢縵坡ヲナシテ、絶テ下ルヲ覺ヘス、此縵坡ノ処ヲ「チェーエネー」ト云、亦有名ノ漠野ナリ、最爾タル枯草、莽々トシテ天ニ際シ、四モ山巒ナク、蒸気車上終日ミル所ナシ、水ハミナ北流シ、「ソースプレッチ」河ニ赴ク、「チェーエネー」ニ、一条ノ鐵路アリ、岐ヲ分テ南ニ赴ク、是ハ「コロラト」部ヲ絶テ、「カンサス」州ニ往来スル線路ナリト、此荒漠ノ野、千里無人ノ境ニテ、目ニ青樹ナク、鳥跡モナキ地ニ、早ク鑿路ヲ造リテ、他日開拓ノ利ヲ促ス、其遠度ヲ察スヘシ、此辺ノ野ニ生スル、一種ノ野犬アリ、「プレーリー、ドック」ト名ク、其形ハ海狗ニ似タリ、処々ニ群ヲナス、「プレーリー」ハ此辺野地ノ総名ナリ、



九時四十分ニ「チェレモント」ニ至ル、此村ハ人口五百余アリ、「ウァイオミング」部ノ域  
ハ此ニ尽テ、「ネブラスカ」州境ニ入ル、  
「ネブラスカ」州ハ、地積七万五千九百九十五方英里、人口ハ一千八百六十年マテハ、三万  
ニ及ハサリシニ、七十年ニハ十二万二千九百九十二及ヘリ

## 鐵道圖



明治五年一月十六日

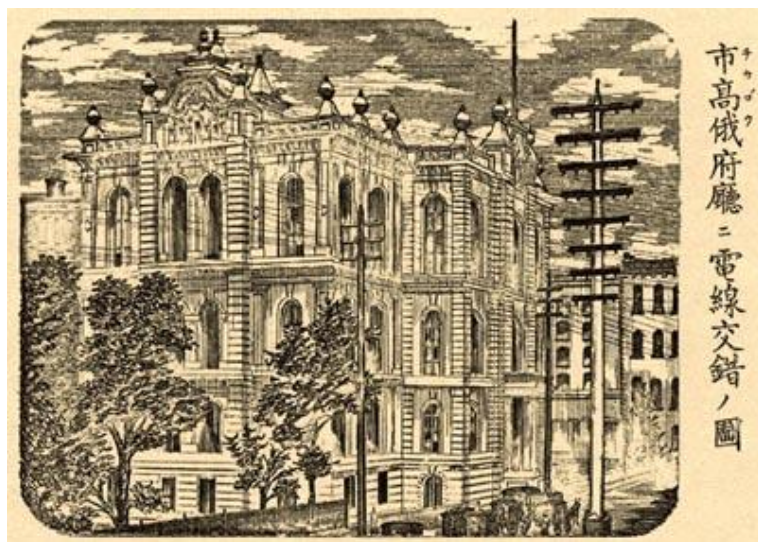
午後「シトネー」村ニ至ル、人口六百余アリ、此地ニモ常備兵ノ鎮台アリ、歩騎二百余ヲ備ヘテ、印甸土蕃ヲ防ク、夫ヨリ進行シ、愈東スルニ従ヒ、地勢愈坦ニ、最爾ノ草モ、漸繁茂ヲ覺ヘ、夕陽ニ「ソース、プレッチ」河ノ右岸ヲ走ル、河ノ広サ千余尺モアリヌヘシ、河水清クシテ流レ速カナリ、兩岸ハ平行ニテ、水ノ地ヲ距ルコト一尺余ナリ、河上ニ始テ一群ノ小鳥飛翔ルヲ認ム、是ヨリ人境ニ入タルヲ覺ヘタリ、河水稍深ク、土地モ稍腴ナレハ、「ネブラスカ」州ノ開墾ハ、進ンテ此大野ニ及ハンコト、今ヨリ已ニ期セラレタリ、

是ヨリ南「プレッチュ」河流ニソフテ走ル、夕陽野ニミチテ、千里ノ黄艸ハ茫トシテ寒烟ヲ生シ、河水清クシテ時ニ瀨声ヲキク、青山ノ目ニ上ルナキモ、自ラ気色ノ愛スヘシ、況ヤ三日ノ間、無人ノ荒原ヲスキ、武師カ未タ征セス、張騫カ未タ探ラサル、遼遠ノ漠野ヲ始テ鑿空シ来リ、此矚目ヲナシツハ、東方繁庶ノ域ニ達セントス、車廂穩カナルモ、転輪ノ猶洩キヲ覺フナリ、

午後九時ニ「ノルツ、プレッチ」河ヲ越ユ（即北「プレッチ」河ナリ）、両「プレッチ」河

ハ、共ニ落機ノ頂ナル「ボウォーモンテン」ヨリ打出ス水ニテ、鋳路ノ南北ナル原野ヲ流レ、此ニ至リ会合シテ、「プレッチ」河トナリ、哈馬哈ニ至リ、「ミソリ」河ニ注クト云、此処ノ河幅千余尺、水清ク流緩カナリ、此日ニハ氷融ノ下ルヲミル、又河中ノ洲嘴ニ、水停溜ノ処ハ、水面ミナ氷ヲ結ヒタリ、鋳路ハ河ニ橋架ヲ植タルマヽニ、板ヲモ敷カスシテ、直ニ鉄軌ヲ釘固シタル、籠粗ナル製作ナリ、橋ヲスクルトキハ蒸気ヲ緩ニシテ徐転ス、此時暮色蒼然トシテ野艸ニ生シ、水面ヲ吹来ル風ハ凄其トシテ寒ク、月色凍ルカ如ク、水岸ニ土民ノ火ヲ焚クハ、頗ル画ニ入ルヘキ佳景ナリキ、向岸ハ北「プレッチ」村ニテ、其人口五百余人、村家落落トシテ、河岸ニソヒテアリ、落機「セールメン」ノ頂ヨリ此村駅マテ三百五十八英里、地勢ハ漸漸ニ下リ、此処ハ海面ヨリ高サ二千七百九十尺ニスキサル平原ナリ、是ヨリ地勢猶下リ「プレッチ」河ヲ右ニ見テ進行ス、夜中ニ過タレハ見ル所ナシ

## 市高俄府庁ニ電線交錯ノ図

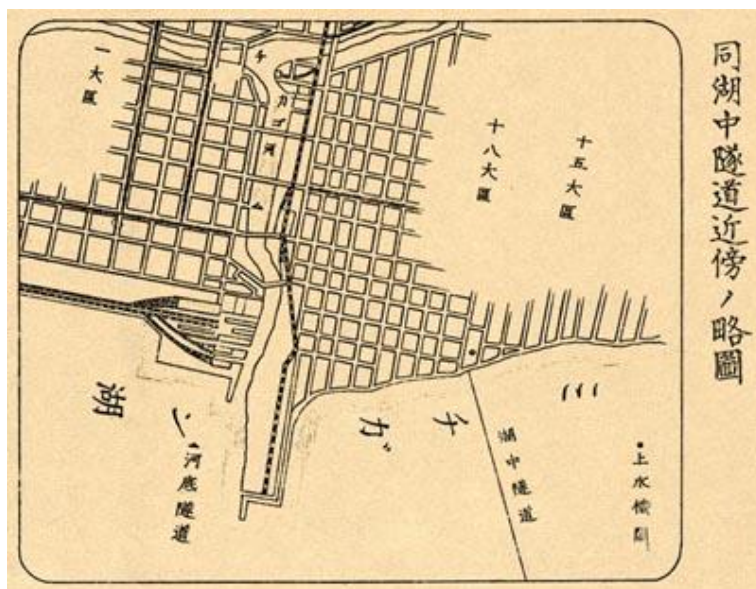


明治五年一月十九日

市高俄府ハ「イルイノイス」州ノ大都ニテ、北緯四十一度五十七分、西経八十七度三十五分ノ地ニ位ス、此府ハ一千八百四十年マテハ、人口四千四百七十九人ノ小邑ニテ、所有産ノ総価九万四千四百三十七弗ヲ数ヘシニ、同五十年ニハ、已ニ二万九千九百六十三人ニ至リ、六十年ニ八十万九千二百六十人ニ至ル、去七十年ニハ二十九万八千九百七十七人ニテ、所有産ノ価ハ、二億七千五百九十万四千六百六十弗ニ至ル、合衆国ニ於テ第五ノ都会タリ、

東北ハ「ミチガン」大湖ノ浜ニヨリ、湖水清澹、北ニ望メハ天ヲ極メ洸洋タリ、即米国北方五大湖ノ一ナリ、合衆国北方ノ運送ハ、湖水ノ利ニヨルコト、已ニ前ニ記セルカ如シ、此府ハ湖水漕運ノ南衝ニアタリ、密河谷平地、北方ノ物産ハ、多ク此府ニ鍾聚シ、逐年ニ繁昌ヲナスコト、駸々トシテ旺ナリ、連雲ニ連リ四ニ山巒ヲミス、巨商大賈檐ヲ駢ヘテ住シ、土著ノ有姓、万ヲ以テ数フ、其蓄金ノ盛ナル、殆ト新約克ノ富ニモ超過スルノ勢アリ

## 同湖中隧道近傍ノ略図

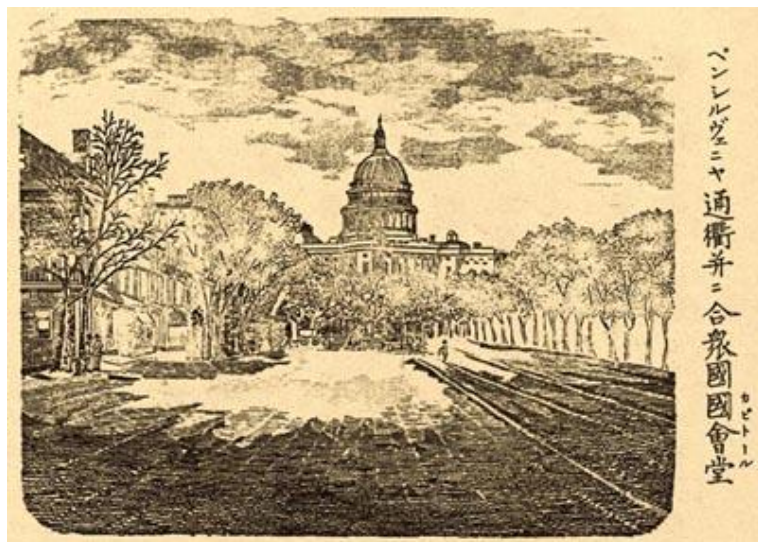


明治五年一月十九日

夫ヨリ「チカゴ」河底ノ隧道ヲ過ク、「チカゴ」河ハ聖路易府ヨリ引タル運河、当府ヲスキ、「ミチガン」湖ニイル河ニテ、其水底ヲ通セル隧道ナリ、河ニ近ツク頃、市中ヨリ道漸漸ニ下リテ、遂ニ洞口ニ入ル、水底ニ及ヘハ、道ノ中央ニ柱ヲタテ支持シ、路分レテ兩トナル、柱間ニ瓦斯燈ヲ点シ闇ヲ照ス、洞尽キ地上ニ出レハ、河ハ已ニ後ニアリ、此隧道ハ長サ四分英里ノ一（我二百二十間）、其造築堅固ニテ、且寛濶ナレハ、馬車ヲ駆リテ往来スヘシ、又行違フニ支リナシ、此ヲ築成スルニ三百万弗ヲ費セリト云



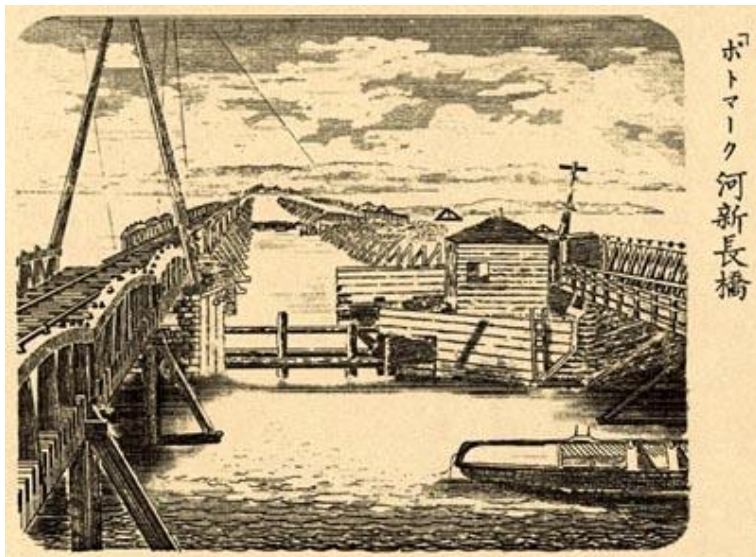
## 「ペンシルヴェニア」通衢并ニ合衆国国会堂



明治五年一月二十一日

府中ノ街路ハ、国会堂ヲ中心トシテ、四線ノ「アヴェニュー」アリ、曰ク「ペンシルヴェニア」、曰ク「デルワール」、曰ク「ニューヂェルセー」、曰ク「メーリーランド」、四衢中ニ於テ、「ペンシルヴェニア、アヴェニュー」ヲ府中第一ノ大街トス、長サ四英里、濶サ百六十尺、坦平髮ノ如ク、府ノ中心ヲ貫キ、其中ニモ国会堂ト大統領館トノ間、一英里四分ノ一ノ処ハ、往来繁華ニテ、屋薨ミナ雄ニ、貨物星羅セリ

## 「ポトマーク」河新長橋

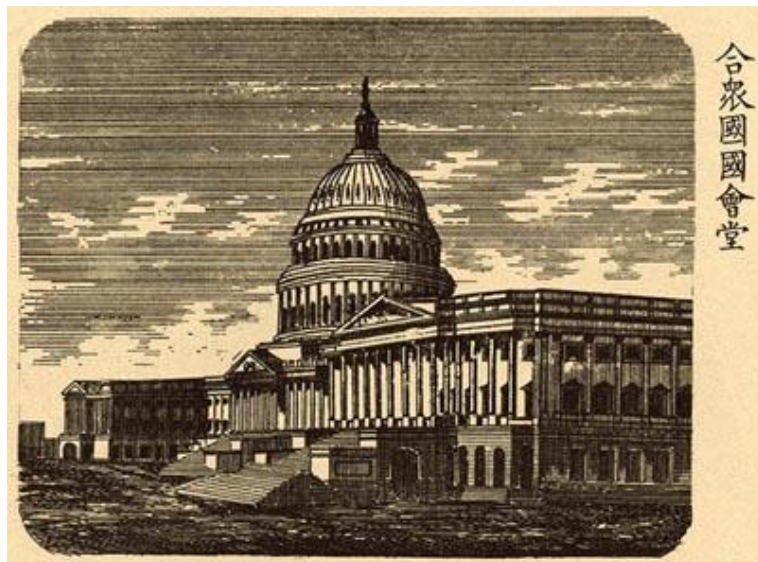


明治五年一月二十一日

当府ノ地タル、西南ニ「ポトマーク」ノ大河ヲ帯ヒ、河幅百余間、「ヂョーチ、タウン」ニ至リ、乍チ濶開シ、五六百間ノ巨浸トナリ、国会ノ南西ニテ、「エスティンブランヂ」渠ニ合ス、此渠モ其幅百余間アリ、府ノ東南ヲ分チ流ル、数条ノ木橋ヲ架シ、渠南ノ地ニツヽル、

「ポトマーク」河ニ、近頃新大橋ヲ架セリ、人行ト蒸気車道ト、両条ヲ分チタル橋ニテ、其長サハ一英里ト四分ノ一（即十八町）、以テ「アレキサンドリヤ」及ヒ「ヴィルチニヤ」州ニ往来ス、此橋ハ木製ニテ、我一行ノ来着ノ時マテハ、建築中ナリシニ、逗留中ニ略落成セリ

## 合衆国国会堂



明治五年一月二十七日

晴

十時ヨリ、馬車ニテ一行並理事官共ニ、「カピトル」ニ至ル（「カピトル」トハ政事堂ノコトニシテ、即チ大政府ナリ、又「コンGRESS」ト云、国会ノ義ナリ）、是則合衆国ノ政府ニシテ、造営最モ宏壯ナリ、一千七百九十三年ノ九月十八日ニ、華盛頓氏親ラ基礎ヲスヘ、夫ヨリ年ヲ逐テ造営シ、初ハ中堂ノミナリシニ、後代左右ノ兩院ヲ増セリ、

金基ノ地域、広サ七百五十一「フィート」、長サ三百二十「フィート」、其広サハ、総テ三「エーカー」半ノ地ヲ奪フ、此処ノ地形ハ、府中ノ高地ニテ、海面ヲヌクコト百四十五「フィート」、中堂ニ円塔ヲ起ス、高サ百四十五「フィート」、上ニ銅製ノ「クイン、オフ、リヴェルチー」ノ神像ヲタツ（自主ノ后ト云義ナリ）、全堂及ヒ左右翼、ミナ「メリーラント」州ノ白石ヲ以テ柱ヲ造リ、「マッサセッチュ」州ノ白石ヲ以テ床壁トシ、全屋総テ石材ノ建築ナリ、其総費一千二百五十万弗ヲ費セリト、

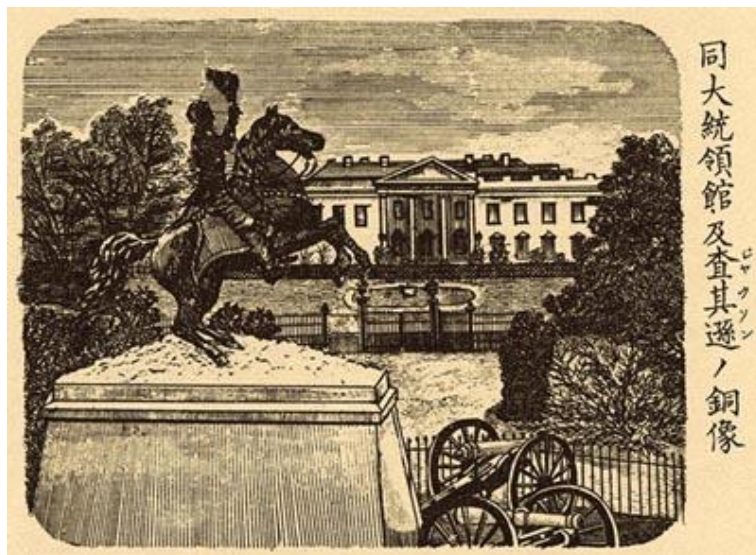
堂西ヲ正面トス、右翼ヲ上議院トシ、左翼ヲ下議院トス、中央ノ区、初メ上下議院ニテアリシ所ヲ以テ、大統領ノ室、及ヒ大審院トナス、又書庫ヲオキテ、古来ノ典章記録ヲ蔵セリ、

此日下議院ニ於テ、「スピーチ」ノ取替シアリ、下議長「ブレイン」氏、正面ノ壇ニ着席ス、一行諸官員、総テ其壇ヲ匝リテ立ツ、背後ニハ、平日ノ如ク、議員一統其座ニアリテ聴聞ス、三面ノ回楼ニハ、男女席ヲ塞テ聴觀ス、議長マツ「スピーチ」ヲ演ス、大使之ニ答演ヲナス、

上院ノ議員「ゼネラルバンクス」、又之ヲ国語ニ訳シテ演ス、儀畢リテミナ院ヲ出テ諸室ヲ廻ル、

中央円塔ノ下ハ、高宇洞朗ナル円室ニテ、四周ニ画ヲ張ル、閩竜海ヲ航シ始メテ米地ニ上ル  
図、華盛頓大統領ニ選マルハ、英ヲ絶テ独立ノ檄ヲ草スル図ナド、当国ニ於テ名誉ナル史  
伝ヲ描ク、スヘテ十張ナリ、是ヨリ大審院、及ヒ書庫等ヲ回ル、玻璃ノ色ハ、洞徹シテ水ヲ  
欺キ、大鏡ノ高サー丈ニ及フナリ、上宇周壁ニハ、米ノ名人ヲ画図シ、下床ハ彩色ヲ髹繪シ、  
到ル処ミナ華麗ヲ極メタリ、此堂ノ造営皎潔ニシテ、地所ノ壮美ナルコト、歐洲ニテモ殆ト  
比類ナキ堂ナルヘシ、然トモ周圍ノ柱椽清楚ニテ、彫刻少ク、室内ニ金色爛然人ヲ眩スル文  
飾ヲ為スニハ至ラス、凡ソ宮室美ニシテ、彫刻精ヲ極メ、金玉ヲ嵌縷セルハ、仏国以国ニ超  
ユルモノナシ、且彫刻図画ハ米英人ノ所長ニアラサルナリ

## 同大統領館及查其遜ノ銅像



明治五年一月二十五日

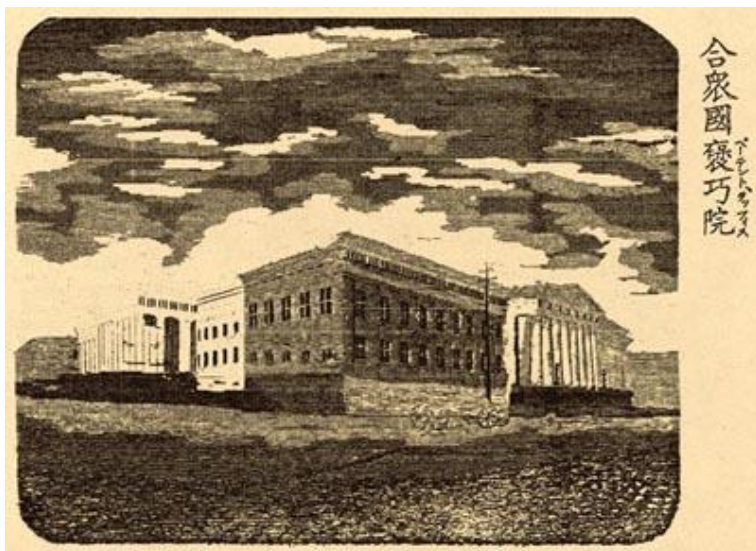
晴

十二時ヨリ、大統領「グラント」氏へ謁見ス、事ハ謁見式ニ載ス、  
大統領ノ官邸ハ、一行ノ駐紮セル「ホテル」ト、一ノ「スクワヤ」〈公苑〉ヲ隔テ、西ニア  
リ、「ホワイトハウス」ト云（白館ト訳ス）、此館ハ、一千七百九十二年、華盛頓氏カ大統領  
在職中ニ、「チェームス、ホハン」氏ノ建議ニテ築キ起セリ、造営ノ図式ハ、英ノ「レイン  
スター」ヂェーク〈ヂェークハ爵名ナリ〉ノ宅ヲ摸ス、長百七十「フィート」幅八十六「フ  
ィート」、三層ノ屋ナリ、「フリスト」石ヲ以テ築ク、之ヲ望メハ皎然トシテ白シ、故ニ「ホ  
ワイト」ノ名アリ〈議政堂モ亦白石ノ築造ニテ尤モ府中ニ標タル屋館ナレトモ其成ルヤ此館  
ヨリ廻ニ後レシヲ以テ、白館ノ名ハ此館ニ専ラニセリ〉、東北ハ塙ヲ回シ、門ヲ正東ト正南  
ト兩處ニ開ク、西ニハ広苑アリテ、昼ハ人ヲ縦テ遊息セシム、大統領ヘ任セラル其日ヨリ、  
此ニ居住シ、任滿テ出去ル、今ニ至ルマテ十八選ヲ経タリ、

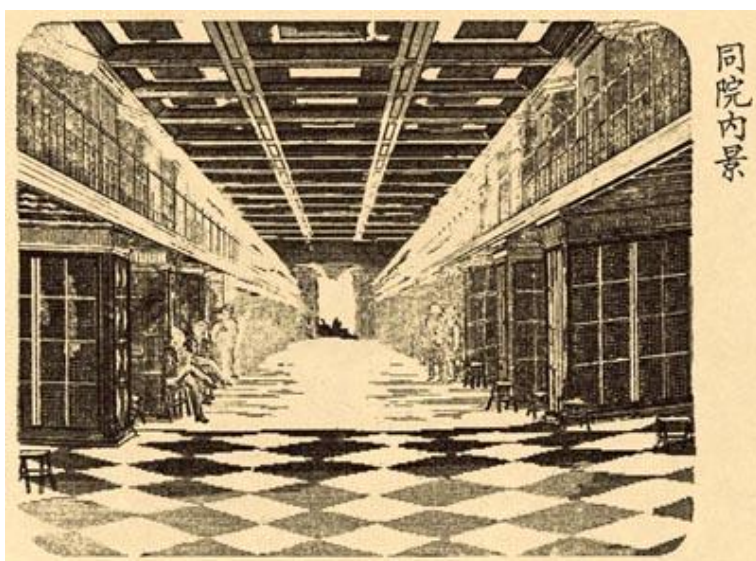
此館ハ前後ニ「スクワヤ」ヲ帯ヒ、左右ニ倉庫院、國務、陸軍ノ三省アリ、府中ニテ頗ル清  
麗佳景ノ地タリ、合衆国ノ法、毎ニ寛裕ナレハ、府中ノ人ハサラナリ、外国ノ行旅ニモ、自  
由ニ遊覽ヲ許シ、警邏ノ設ケナシ、国人常ニ歐洲ノ王宮、諸衙門ニ、兵ヲオキ人ヲ禁スルヲ  
誹笑シテ、陋習ト言做ストナリ



## 合衆国褒巧院



## 同院内景



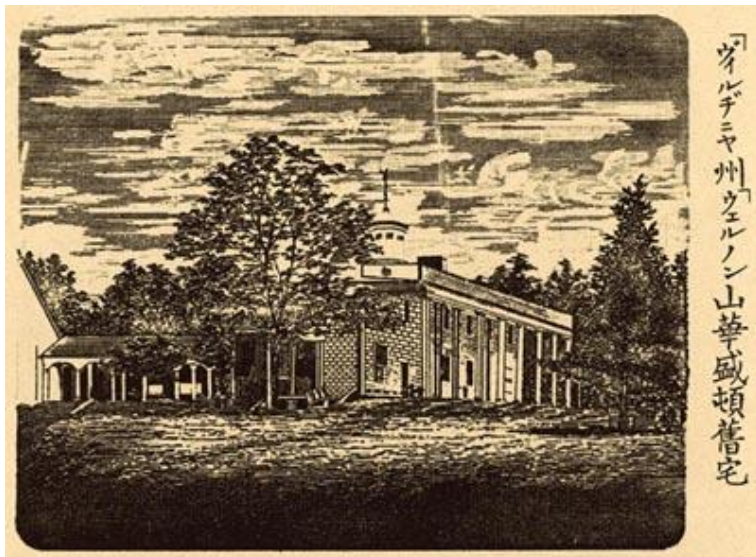
明治五年二月二十五日

午後ヨリ、「マヤル」氏ノ案内ニテ、「パテント、オヒス」ニ至ル、「パテント、オヒス」ハ褒巧院ノ義ナリ、國中ノ人、著述技工、百般ノ新發明アレハ、議院ニ持出シ、免許ヲ請フ、其雛形ヲ此ニアツメテ衆ニ示ス、此ハ民部省ノ所轄ニカハル、其發明ノ深淺ニ依テ、褒典ニ差アリ、或ハ專買ノ免許ヲアタヘ、或ハ褒章ヲアタヘ、或ハ此ニ及ハサルモ、亦此ニ留置テ誘示スルモ、亦榮アルニ預ルナリ、

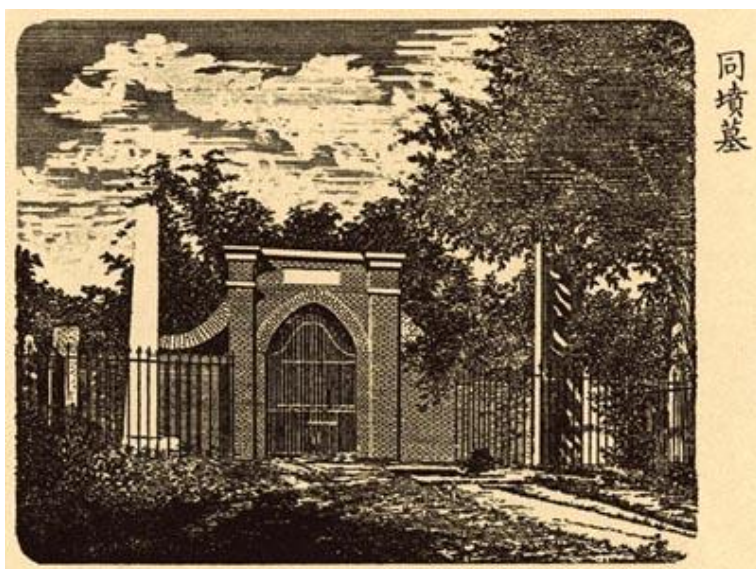
此館ノ築造宏大ニテ、郵便館ト相對セリ、總テ白石ヲ以テ築キアケ、皎然トシテ雪ノ如シ、中ニ數十ノ大房ヲ区分シ、部ヲ分チテ新發明ノ器械、及ヒ雛形ヲ叙列ス、米国人器械ノ製作ニ長ス、自ラ謂フ世界ニ冠絶スト、大ニシテハ蒸氣船、電信機、甲鉄船ノ属ヨリ、学科、理科、家常日用、百種工芸、美術ノ器械ヨリ、童翫、香匳ノ瑣末マテ、聊カ新工夫ヲソヘタルハ、即チ採録シテ、雛形ヲ此内ニ列ス、其夥多キコト、名ヲ問フモ精神ヲ耗尽スヘシ、且機械ノ巧ニ至リテハ、機関ヲ運シテ、運動操作ヲナスモ、猶其妙ヲ知り難キモノ十二八九アリ、只其雛形ヲ列ネ、活機ヲ止メタル死物ニテハ、何ノ用タルモ知ラス、只一瞥シ去シモノ多シ、

去一年中ニ、米国ニテ「パテント」ヲアタヘル、新發明ノ数、一万三千六百二十件ナリ、以テ其夥多キヲ知ルヘシ

## 「ヴァルヂニヤ」州「ウェルノン」山華盛頓旧宅



## 同墳墓



明治五年三月十三日

薄陰

朝八時ヨリ、府中ノ享応ニテ、「ホトマーク」河ニ船遊トシテ、府ノ東南浜ナル、海軍造船所ニ至ル、馬車門ニ入レハ、水兵一隊、整列シテ礼式ヲナシ、十五発ノ祝砲アリ、姑ク「アドミラル」ノ館ニ休シテ、波戸ヨリ上船ス、船ハ「タラフーサ」号ノ汽船ナリ、府中ノ男女百余人、随ヒ来リ同船ス、楽工一隊、緋衣ヲ着ケ、船上ニ樂ヲ奏シテ、河岸ヲハナレユク、

此ハ両股ノ大河合流シテ、其幅二英里ニ及ヒ、渺瀰トシテ流レユキ、左右ハ岡巒通ニ斗出シ、時シモ春ノ末ナレハ、樹木ノ葉ハ翠ヲ展ヘ、岸辺ノ艸ハ茵ヲシキタルカ如ク、其アヒアヒニ花サキ乱レテ、錦ヲ織ルニ彷彿タリ、此アタリノ気候ハ、我邦トカハリテ、春ヲ催スコト甚タ遅ク、梅桃桜李一時ニ花ヲ開キ、河辺ニ景色ヲソヘ、今日ハ空モ陰リテ、照ル日ノ光ヲホノカニ洩シ、水面ヲ吹ク風モ徐カニテ、四方ノナカメ面白シ、

河口ニアタリテ、「アレキサンドリヤ」ニ備ヘタル砲台アリ、是ハ近年ノ戦ヒヤミテヨリ、一層備ヲ嚴ニシテ、周囲四十英里ノ間ニ、幾箇トモナク台場ヲツキ、大砲ヲ備ヘタル、多キハ五十門、少キモ十門ニ下ラス、名高キ台場ト謂フ、

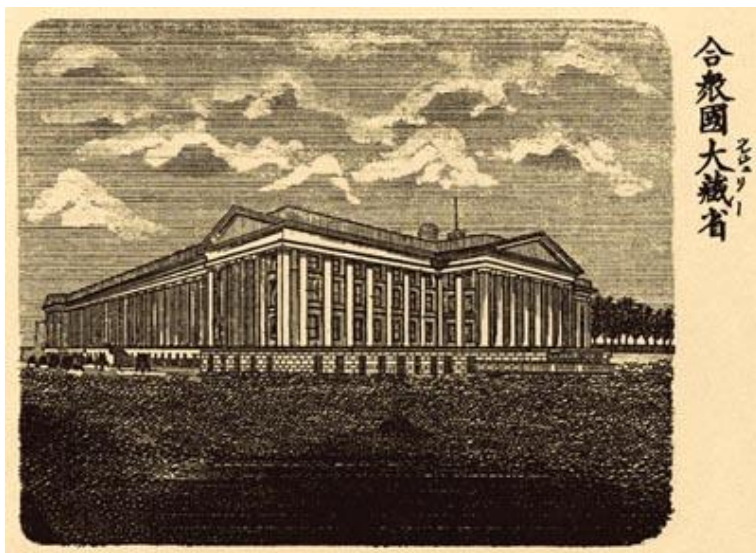
夫ヨリ南ヘ下レハ、「ヴィルヂニヤ」州ノ諸山、河水ニ映シテ参差タリ、十八英里ニテ「モント、ヴェルナン」ノ岸ニ至ル、此ニ木ヲ打固メ、波戸ヲ築出セシ所アリ、船ヲ止メ陸ヘ揚リ、歩行スレハ、樹木繁リシ岡ニ、一ノ山路ヲ開ケリ、淨ク払ヒテ塵ヲミス、此ヲ上レハ、一室ノ墓アリ、是ハ名ニアフ華盛頓氏ヲ葬ル所ナリ、此人ノ功德ハ、米國ノ犬打童モ仰キ尊マサルハナシ、近所ノ男女、金ヲ集メテ其墓地ヲ修覆シ、其上ニ煉火石ノ靈屋ヲ作り、垣ヲ匝シ、其中ニ華氏夫婦ノ墓石ヲスヘタリ、西洋ノ墓表ハ、其製種種アレトモ、富貴ナル人ハ、多ク平石ヲ棺状ニ造リテ、地上ニオクモノ多シ、華盛頓氏夫婦ノ墓ハ、白大理石ヲ棺状ニ作り、上ニ銘書ヲ細勒シ、口ニハ鍊柵ノ戸ヲ鎖シテ、其外ヨリ扨スヘカラシム、靈屋ノ前ニ一対ノ塔碑アリ、白大理石ニテ、高サ二丈アルヘシ、墓ノ周囲ハ岡阜ニシテ、樹ヲウヘ艸ヲ芟リテ路ヲ開ク、ウエタル樹ハ桜樹多ク、此日正ニ花ヲ着ケテウルハシ、

此背後ナル岡ニ、華盛頓氏ノ旧宅アリ、生時ノ儘ニシテ、懇ロニ修理シ、番ヲ付テ守ラシム、此宅前ニハ園アリ、樹ヲウヘ、木ノ間ヨリ「ポトマーク」ノ河光ヲ漏シ、「ヴィルヂニヤ」州ノ岑巒ヲナカメテ、景色ヨロシ、背後ニハ馬厩アリ、花園アリ、玻璃屋ヲ建テ寤養ス、旧宅ハ二階造ニテ、数室ヲ分チ頗ル広シ、華盛頓氏平生着用セル衣裳数領ヲ、玻璃匣ニ珍藏セリ、其他臨終ノ房、仏將「ラフェット」氏ヲ宿セシメシ室ナトヲ詳覽シ、此ニ休スルニ時余、樂隊曲ヲ奏シ、男女相伴テ处处ヲ回レリ、華盛頓ハ雨中ニ樹ヲウヘ、夫ヨリ病ニ感シテ死セリ、其時植シ樹ハ、尚存シテ繁茂ス、庭樹不知人去尽、春来還開旧時花ト、岑参カ句ヲ思出ラレタリ、此人酒ヲ嗜ミ、酒窖ノ跡トテ岡坡ノ側ニアリ、

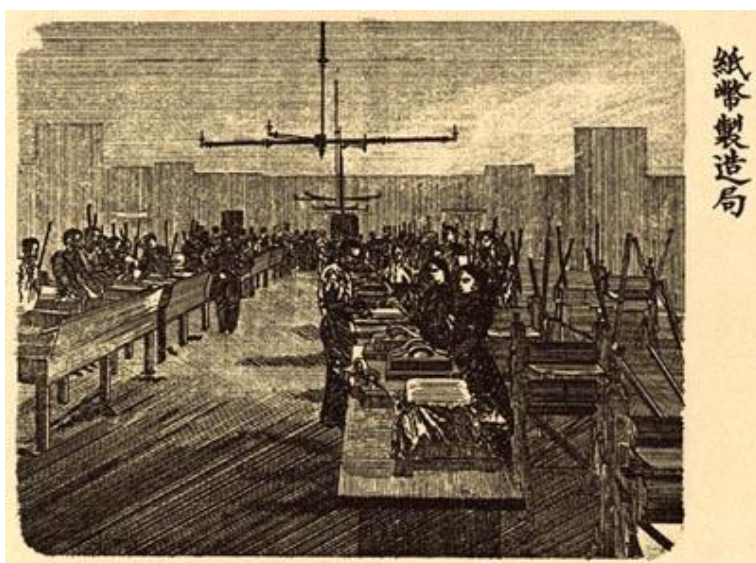
是ヨリ船ニ帰り、昼饌ノ享アリ、男女相錯リ、船上ニ舞踏ヲナシ興ヲ極メテ、帰ル頃ハ五時ニ及ヘリ



## 合衆国大蔵省



## 紙幣製造局



明治五年三月十七日

晴

朝十一時ヨリ、「マヤル」氏ノ案内ニテ、「ツレーヂユリー」ニ往ク、是ハ大政府ノ金蔵ニテ、即大蔵省ナリ、此館ハ府中屈指ノ大建築ニテ、総テ白石材ニテ築起セリ、地ヲ掘ルコト約一丈許ノ下ヨリ、審室ヲ作り、地下ニ二層、地上ニ二層、スヘテ四層ノ屋造ナリ、外面ハ白石ノ円柱ヲ環列シテ、四周ヲ支持ス、其高大ナルコト国会堂ニハ及ハサレトモ、石材ヲ用ヒルノ多キハ之ニ超ユ、若シ全屋ヲ権衡シテ較ヘルトキハ、其重量ハ廻カニ超越スヘシト云、



財務尚書「ブートウェル」氏迎へテ、書記官ノ長ヲシテ案内セシム、租税寮、出納寮ヲ回り、貯金庫ニ至ル、貯庫ハ、四壁ミナ鉄板ヲ疊ミ、二重ノ庫トシ、中ニ蔵スル所ノ貨幣、現ニ一億万弗アリト、然トモ庫ノ十分一ヲ塞ケルノミ、此楼上ニ紙幣製造寮アリ、紙幣ヲ製スルニハ、費拉特費府ニテ、紙ヲ漉テ送リ来ルヲ、此ニ受取テ印刷ヲナス、銅版ノ彫刻ヨリ、紙ヲ濡シ之ヲ拭ヒテ印スルナト、等次ヲ以テ通ヒニ伝へ、其製出シタルヲ、之ヲ数へ、之ヲ整頓シ、之ヲ截チ、之ニ印章ヲオス等、十数次ノエヲ経テ成ル、一エヲ施スニ各一局アリ、互ニ査驗シテ通送ス、此局局ノ順席ヲ正シ、出入ノ査驗、厳密ニ注意ナスコトナリ、否レハ姦軌百出シ、人ヲシテ罪ヲ犯シ易カラシム、

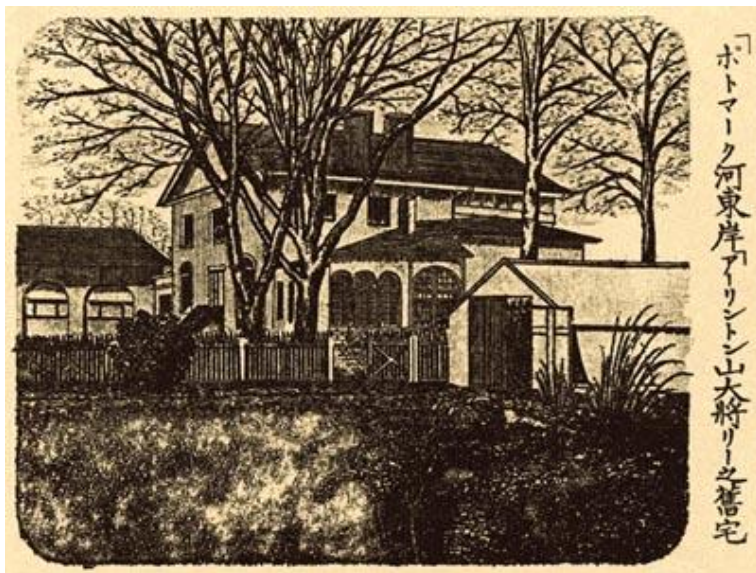
印刷ハ、大抵器械ヲ用ヒ、汽輪ニテ運転スレトモ、元来精緻ナル印刷ナレハ、多クハ人工ヲ用ヒテ、每版ヲ印シ出ス、此造幣ニ用ヒル器械、固ヨリ筆舌ノ尽ス所ニアラス、銅版ヲ彫スルニ種種ノ縮図器械アリ、又中心ハヅレノ車ヲ仕掛タル器械アリ、是ハ円理ノ線ヲ鍾メテ、花紋ナトヲ彫ルニ用フ器械ナリ、其他精美ノ彫刻ハ、ミナ器械ヲ以テ略刻シ、後ニ人工ヲ以テ精刻ス、其緻密ナル、両三年ニ一版ヲ成就スルニ至ル、

印刷ニ用ヒル各種ノ顔料ハ、金属ノ諸液ヨリナルモノニテ、褪色ノ患ナキヲ用フ、之ヲ「テール」松香ニ類セル液ヲ和シテ練リ、稠質ニテ粘ルコト餅ノ如キヲ、「ロール」トテ、両輪相軋ル器械ノ下ニ煉リテ、稍希質トナシテ印刷ヲナス、

各紙ニ番号ヲ印スルニハ、十齒ノ輪ヲタゝミ、単十、百、千ト、毎輪ニテ位ヲ定メ、其転輪ニ従ヒ、一度印スレハ、一字ツゝ位ヲカへ、転進スヘキ器械ヲ用フ、此施工ニテ工業ヲ了ル、其後有司ノ印ヲ署ス、紙幣ヲ数閱スルモノハ海棉ヲ湿シ、小盂ニオキ指頭ヲ時時湿シテ閱ス、此業ハ大抵婦人ニナサシム、総テ日ニ八百余人ノ男女ヲ使用ス、大半ハ婦人ナリト云、

此院ノ背後ニ一局アリ、是ヲ死幣局トス、紙幣ノ国内ニ通布スル内ニ、断残シ、或ハ交換シ、或ハ誤差ニテ不用トナリタルヲ、点檢ノ後ニ切断シ、此ニ蔵シ、時ヲ以テ焼ク所ナリ

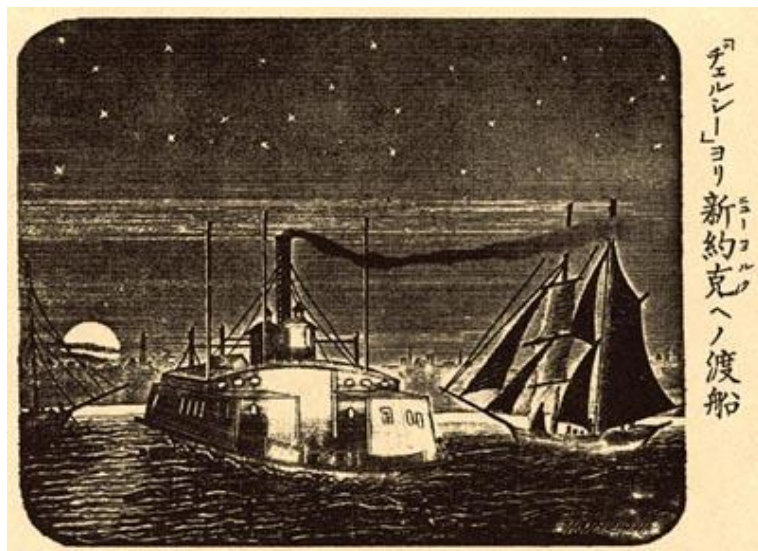
「ポトマーク」河西岸「アーリントン」山大將リー  
之旧宅



同處千八百六十四年市民大戦場ノ墓



## 「ヂェルシー」ヨリ新約克へノ渡船

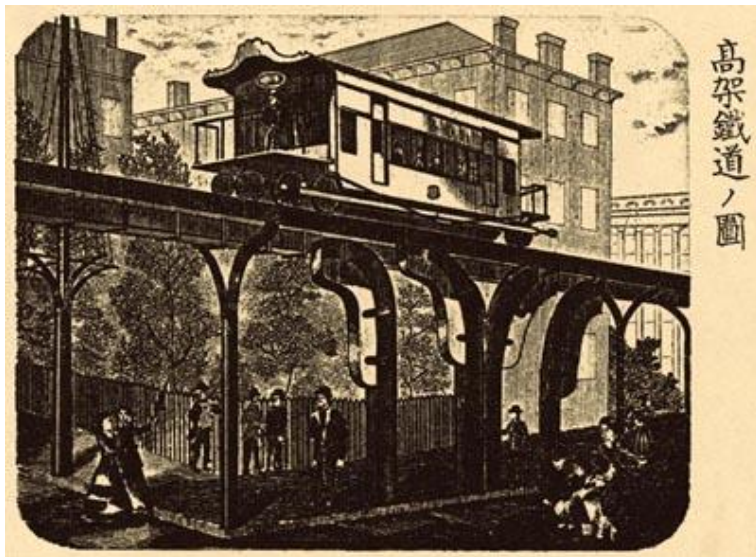


明治五年五月五日

六時四十五分、「ヂェルセーシチー」ノ駅ニ達ス、此府ハ新約克府ト、対岸ノ地ニテ、繁華ナル都会ナリ、人口八万余、市塵モ甚タ稠密、殊ニ蒸気駅ノ喧喧、常ニ混雑ナリ、此ニテ馬車ニウツリ、直ニ「ホヅソン」河口ノ渡航ニ上ル、

「ヂェルセー」ノ江岸ヨリ、「ホヅソン」河ヲ截テ、新約克府へ渡スニハ、蒸気船ニテ日夜往返ス、毎日人馬ヲ濟渡スル数ハ、其夥多シキコト人ヲ驚カスト云、兩岸ニ大廩舎ヲ建テ、棧橋ヲ架シ、渡船之ニ平附ス、其大略ハ初巻ニ記シタル、「サンフランシスコ」ヨリ、「オハクラント」へノ渡頭ニ同シ、此渡船ハ別種ノ製作ニシテ、船首波戸ニ抵レハ、船ノ甲板ト、波止ノ敷板ト、同平ニ接連シ、馬車ハ人ヲ載セタルマハ、直ニ船へ牽入ル、故ニ車上ニアルモノハ、廩舎ニ渡航ヲ待ナラント思フウチニ、船ハハヤ棧橋ヲ離レ、乍四面ニ波浪ノタハヨフヲ見テ、始テ車ハ船中ニアルヲ知り、愕然四顧スル間モナクテ、新約克ノ渡頭ニ着船シ、輪響轟轟トシテ馬車ヲ輾リ出ス、乍ニ海乍ニ陸、驚疑ノ間ニ変移ス、製作ノ巧、快モ亦極ル

## 高架鉄道ノ図



明治五年五月五日

江口ノ幅ハ、一英里ニ及フ、此ヲ渡シテ「ウェストワシントン」ノ第十六番栈橋ニ達シ、直チニ馬車ヲ輾リ出シ、新約克ノ市街ヲ馳行ス、此ニ鉄柱ヲ以テ支持シテ、鉄道ヲ街上ニ丈余ノ上ニ架設シ、蒸気車ヲ往来スル栈橋アリ、夫ヨリ「ブロードウエー」ノ大街ニ出レハ、馬車ノ喧喧ナル、市塵ノ稠密ナル、実ニ汗ヲ揮ヘハ雨ヲナスホドノ繁華地ナリ、其街頭ナル「セントニコラス、ホテル」ニ宿ヲ定ム、時ニ猶七時ナリ



## 「セントラル」公苑〈中心ノ景〉

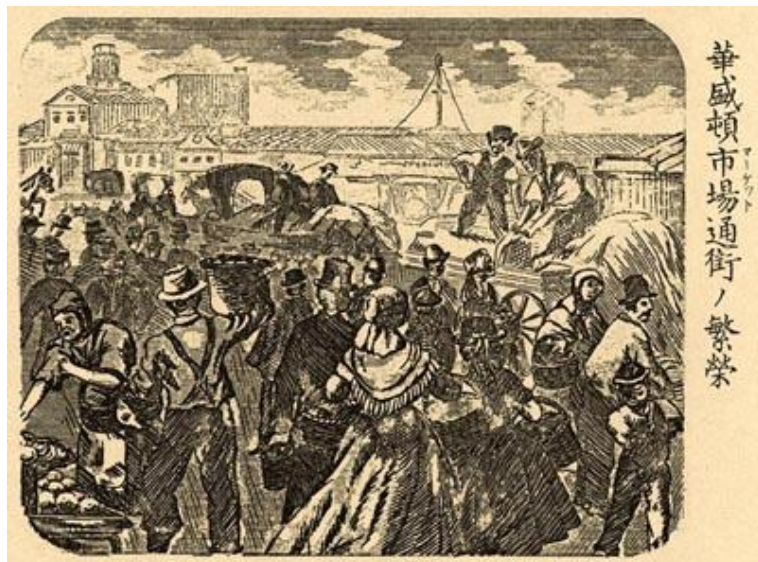


明治五年五月五日

午後三時ヨリ馬車ニ駕シテ、「セントラルパーク」ヲ回覧ス、此游园ハ当府ニテ、寸金ト云ヘキ、地代ノ貴キ、其中央ニ於テ、南北二英里半、東西半英里ノ広地ヲ府中ノ公釀金ヲ以テ買ヒトリテ、偕楽ノ園ヲ修メタル所ナリ、元来当府ハ両河ノ嘴ニテ、総テ平地ナルユエ人工ヲ以テ山巒ヲ築起シ、天然ヲ欺ク名勝トナセリ、始メ此園ヲ起スニ当リテ、府中ノ園匠ヲシテ、假山泉石ノ設ケヲ打点セシメシニ、名工各其匠思ヲ極メ、図式ヲ取立タル、其中ニ於テ翹翹タルヲ選フニ、尚五十名アリ、因テ五十区ニ割リ、各名ニ分附シ、技倆ヲ尽サシメ、大矩ヲ縮メテ小矩トナシ、互ニ競テ匠心ヲ己ノ区分ニ尽シタルニヨリ、其勝致粗細ミナ宜シ、愈出テ愈佳ナリ、欧米公園中ニモ、比類少ナシト云



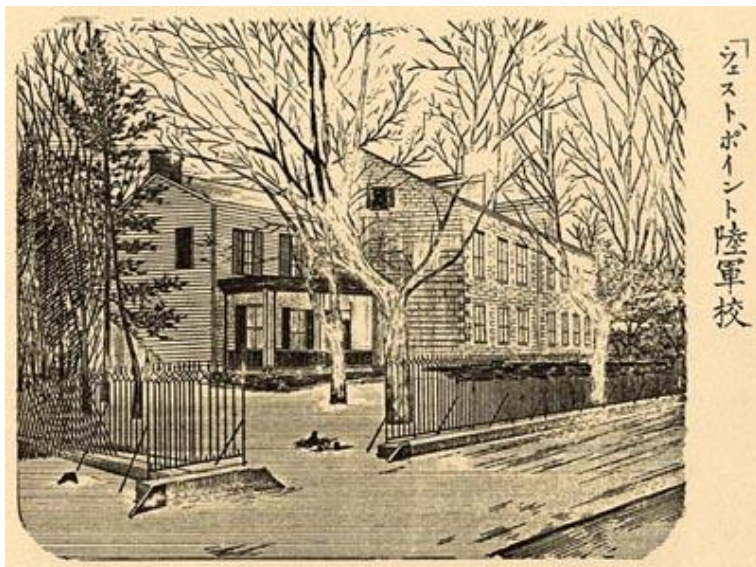
## 華盛頓市場通街ノ繁栄



明治五年五月五日

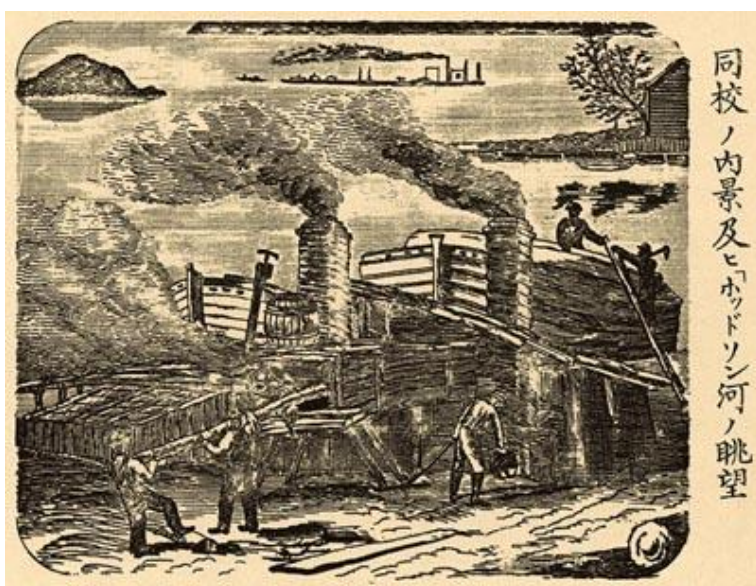
「バッチェレー」ヨリ車ヲ回シ、府庁ノ前ナル広達ヲスク、此ハ「ブロードウェー」街ノ衝頭ニテ、当府繁華ノ最劇ナル地タリ、我東京ノ八辻ニモ比スベシ、府庁、商会、電信局、新聞大社、其他宏壯ノ大館、此近傍ニ集リ、氣象雄魏ナリ、広達ノ全面、ミナ磚形ノ石ヲ密甃シ、周囲ノ人道ノ傍ニハ、露肆ヲ陳ネテ、販商相集リ、常ニ祭礼ノ日ノ如シ、朝ヨリ午前マテハ、果穀菜蔬ノ市ヲ開キテ競売ヲナス、故ニ小農モ、販夫モ、奴婢モ、皆集リ来リテ、売買ヲ要求ス、市場ノ世話人ハ、高キ台ニ上リテ、其売買ヲ媒介スル状ハ、我邦都会ノ問屋、及ヒ河岸ノ景況ニ彷彿タリ、価定マリテ売買ノ成タルトキハ、其証トオホヘ、一片ノ券子ヲ授与ス、蓋商品ヲ化シテ手形トナシ、商業ノ世話人ヨリ保証ヲナス法則ニヨルモノナルヘシ

## 「ウエスト、ポイント」陸軍校



「ウエストポイント」陸軍校

## 同校ノ内景及ヒ「ホッドソン」河ノ眺望



同校ノ内景及ヒ「ホッドソン」河ノ眺望

明治五年五月六日

河ヲ遡ルコト四十八英里ニテ水稍浅シ、西岸ニ大政府支配ノ地アリ「ウエストポイント」ト云（西岬ノ義ナリ）、陸軍学校ヲ建ツ、十二時ニ其岸ニ著ス、陸軍尚書「ヘルナツフ」、  
「コロネル、ロガール」モ同船ニテ、此ヨリ上岸ス、使節ハ営内ノ旅館ニ宿シ、随行ノ官員ハ、一山ヲ隔テタル「カーツェン、ホテル」ニ宿ス、営内ノ「ホテル」ハ、河流ノ曲

折シタル角ニ臨ミテ、高岡ノ上ニ聳ヘ立ツ、楼上ヨリ西南ヲ望メハ、河光天ヲ涵シテ鑑ノ如ク、二三ノ小嶋、其中ニ点綴ス、左岸ハ秀峰河浜ヨリ起リ、孱顔ヲ流ニ鑑ム、右岸ハ連山余脈ヲ河浜ニ走ラシ、一带ノ野ヲ開ク、朝陽嶺後ニ上レハ、積翠ニ烟嵐ヲ浮メ、残照水際ニ落レハ、長波ニ紫霞ヲ漾ハス、此楼ノ上ニアレハ風趣殊ニ多ク、宛トシテ我邦ノ防海ヨリ、赤馬関ヲ望ムニ似タリ、北方ニ操練ノ広場アリ、樹ヲウヘテ場ヲメクリ、其陰ニ学校兵營アリ、三面ノ山ハ峻高ナラスト雖モ、層重シテ風景ヲナス、

「ガッツエン、ホテル」ハ、營ヲ出テ山路一英里余ノ北ニアリ、河浜ノ林岡中ニテ、建屋モ亦宏大ナリ、維時仲夏ニ際シ、樹樹新緑ヲノヘテ、家ノ四圍ヲ掩ヒ、日光モ為ニ冷カナリ、園ニ白砂ヲ布テ、清浄愛スヘシ、俯シテ「ホヅソン」河ヲミレハ、水流漫漫、来船ヲ迎へ、行舟ヲ送ルコト、我邦澱河ノ守口橋本ノ景ニ似タリ、前ニハ群山重疊シ、鑿道河浜ヲワタリ、時ニ汽車ノ烟ヲ吹き来ルアリ、北ハ谿ヲ隔テ、一館岩上ニ立ツ、両崖ノ間ハ池ヲナス、飛瀑トナリテ岩ノ間ニ落ル、西北ハ山高ク樹鬱ニ、一部ノ村落、樹間ヲ塞キ、二三ノ堂尖、参差トシテ空ニソビエ、景趣又清絶ナリ

## 「ホッドソン」河岸鉄道守線所



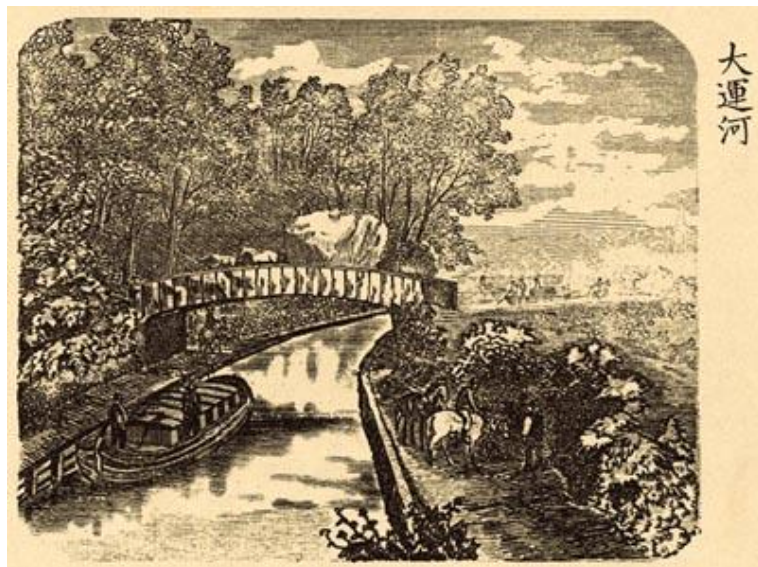
明治五年五月八日

晴天、氣候昨日ニ比スレハ涼ヲ覺フ

朝十時、「コロネル、ロガール」氏ニ暇ヲ告ケ、「ウエストポイント」学校ノ境内ナル、渡船場ヨリ、横ニ「ホヅソン」河ヲ渡ス、回顧スレハ、岸上ニ岩石ソヒヘ、一条ノ坦路ヲ開キテ山腹ヲ行ク、脈脈ノ層巒、森蔚トシ翠屏ヲ疊ミ、風景清佳ナリ、此辺ハ、河水浅淤ナリ、水底満面ニ香藻ノ浮動スルヲミル、前岸「ガリソン」駅ニ上リ、此ニ車ヲ待ツコト半時許ナリ、十一時ニ、新約克府「センタラール」鉄道会社ヨリ、使節ヲ享応トシテ、「コロンビヤ」号ノ蒸気車ヲ仕立テ、車内ニハ両国ノ旗章ヲ交叉シ、十一対ヲ飾リ、使丁ハ皆襟ニ日章ノ小旗ヲツケ、庖車ニ食饌ヲ用意シ来リ迎フ、因テ上車シ、「ホヅソン」河ニソフテ、北ニ走ル



## 大運河

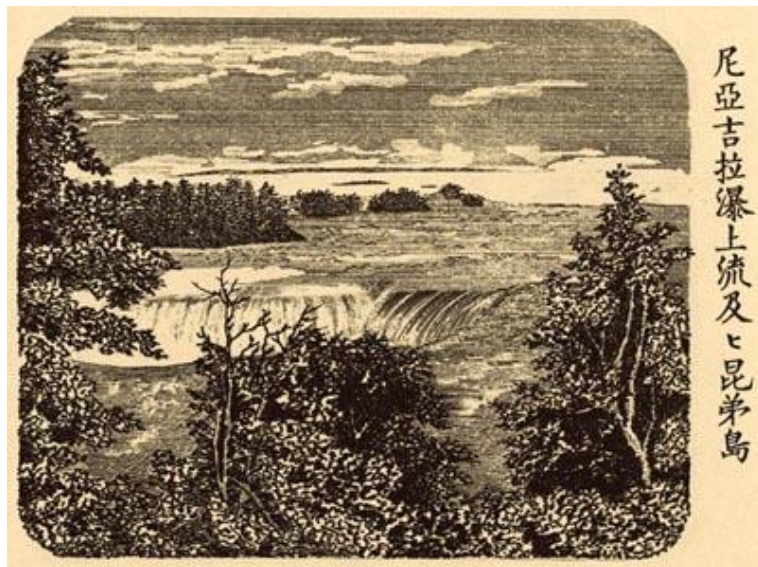


明治五年五月八日

州内漕運ニ便ナルハ、西ニハ「エリ」湖「オンダリオ」湖アリ、接連シ、此ヨリ運河ヲ掘リ「ホヅソン」河ニ通シ、北ニハ「チャンプレン」湖アリ、東南ニハ「デルワ」河、「シユスケハンオ」河アリテ、「ペンシルヴァニア」州ニ漕出ス、此等ノ便ヲ以テ、百貨ヲ搬送シ、之ニ加フルニ、新約克府ノ大埠頭アリ、百貨ヲ吐吞シ、製作亦盛ニシテ、鋳械、鋼具、棉布、毛布ミナ機巧ヲ尽ス、物産ノ源流已ニ盛ニシ、吐納モ亦疏通スルヲ以テ、其繁昌ハ合衆国ニ抽テ、第一タリ



## 尼亞吉拉瀑上流及ヒ昆弟島



明治五年五月九日

澹陰時ニ日光ヲ洩ス

此地ニ着スレハ、氣候甚タ冷ニ、昨夕ヨリ人皆外套衣ヲ襲ネタリ、今朝陰天ナレハ、殊ニ冷ヲ覺エス、

十一時ヨリ駕シテ、「ナイアキラ」ノ瀑布ヲ回覽ス、

合衆国ノ疆域ニ、世界第一ト称スルモノ三アリ、密士失比河ハ流水ノ最ナリ、五湖ハ浸水ノ最ナリ、尼亞吉拉瀑ハ、懸水ノ最ナリ、夫長流巨浸ノ浩滔汪洋ナル、世界第一ナル所以ノモノ、一望ニ尽スヘカラス、瀑布ニ至リテハ、一区ノ地ニ注瀉シ、飛騰奔放スルハ、真ニ壯觀ナラン、乃隆冬ノ氷柱、盛夏ノ冷嵐ハ、絶勝中ノ絶勝ナリトテ、凡此国ニ来ルモノハ、探奇搜靈ノ遊ニアラサルモ、亦路ヲ迂シ此勝ヲ觀ルトナン、

我一行ハ、杪冬ヲ以テ米国ニ至リ、雪ニ落機ヲ越エテ密河ヲ渡リ、「ミチガン」湖浜ニ宿シ、長流巨浸ハ、其一斑ヲ窺ヘリ、既轅ヲ華府ニ駐ル後ニ、「インテルナショナル、ホテル」ヨリ書ヲ聘テ、一顧ヲ促ス、時ニ使事方殷ニ往クニ違アラス、今淹滞既ニ久ク、務メトモ亦間ニ、夏令ニ際シテ、炎暑堪ルヘカラス、政府饗待ノ厚意ニテ、北方ノ勝地ニ誘引シ、竟ニ尼亞吉拉ノ遊ヲナセリ、

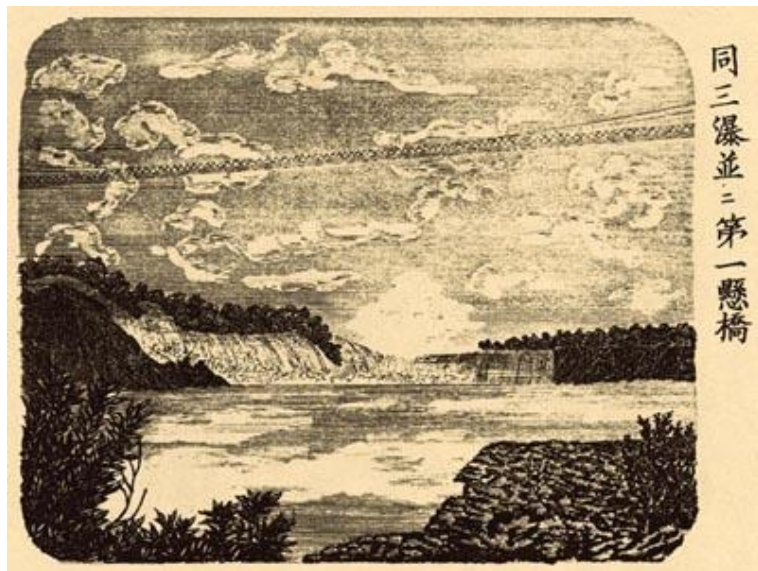
尼亞吉拉ハ衣里湖ノ東尾ト、安達里湖ノ西首トヲ、截断シタル、幅三英里ノ地峡ナリ、衣湖ノ水面積ハ九千方英里、安湖ハ六千八百方英里、共ニ五大湖ノ一ニテ、側円形ノ浸水ナ

リ、位置西ヨリ東ニ透連シテ、新約克州ト加拿他地方ト界線ヲ分ツ（安湖ノ尾ハ「セントローレンス」河ナリ）、即英領ト米領トノ分界ナリ、

衣湖ト安湖トノ間、三英里ノ地峡ハ、平衍ノ湿原ナリ、崇山峻嶺モナク、奇石怪巖モナク、只漫坡ヲ起シ、加拿他地方ニ走ルノミ、両湖ノ水面、其高低ノ差ハ二百余尺ニ及ヒ、衣湖ノ水東ニ迫リ、地峡ヲ崩シテ流レントス、峡底ハ滑堅ニテ、石骨之ヲ支へ、水石相争ヒ、終ニ一角ヲ裂テ、左右ヨリ環注シ、窪処ヲ得テ又一峡ヲ裂キ、安湖ニ奔注シ、此巨瀑ヲナセリ、

其分裂ノ一角ヲ、「ゴード」島ト云、島ノ左右ヨリ峡ニ落ルノ水ヲ尼亞吉拉瀑トス、其下流ハ尼亞吉拉峡ナリ、「ゴード」島ハ、正ニ瀑ノ中央ヲ截持ス、此島ト加拿他トノ間ニ落ルヲ、「ホース、シューズ、ホール」ト云（馬履瀑ノ義ナリ）、「カナリヤンボール」ト云（加拿他瀑ノ義ナリ）、ミナ峡水ノ正面ニアリ、即本流ナリ、此島ト尼亞吉拉トノ間ヲ回旋シテ来落ルヲ、「アメリケン」瀑トス、峡水ノ側面ニアリ、即支流ナリ、三瀑ノ濶狭一ナラス、皆其高サ百六十四尺、斷崖千尺ヲ下ル懸水ニハ非サレトモ、惟其濶大ニシテ、水勢ノ盛ナルコト、世界ニ其比ヲミス云、是三瀑ノ大形ナリ

## 同三瀑並ニ第一懸橋



明治五年五月九日

車ヲ駆リテ旅館ノ背後ニ出レハ、即河流ニ逢フ、長橋アリ、橋下ノ水、其流レ騁疾ニ、河底ミナ石ナリ、水勢コレニ触レ、急瀬ヲ成シ、轟轟トシテ声ヲナシ、橋ヲ過テ、忽チ一頓シ灘ヲナシ、珠ヲ飛シ雪ヲ噴テ快瀉ス、是ヲ「アメリカン」瀑ノ上流トス、

橋ヲ越レハ「ゴード」島ニ至ル、一字ノ屋アリテ居人ナシ、樹木陰森トシテ、墮葉ハ草ト相狼藉シ、路ハ修美ナラネト、馬車ヲ容ルニ余リアリ、轆ヲ右ニシテ車ヲ止メ、谿路ヲ歩シ下レハ、米利堅瀑ノ上頭ニ至ル、瀑ヲ隔テ、尼亞吉拉邑ヲ望ム、岡樹陰森トシテ、翠嵐ヲ帯ヒ、且湿ヒ且烟リ、冷冷ノ氣、暗ニ衣ヲ沾スヲ覺フ

## 「ナイアガラ」 峽盤渦溪ノ懸楼

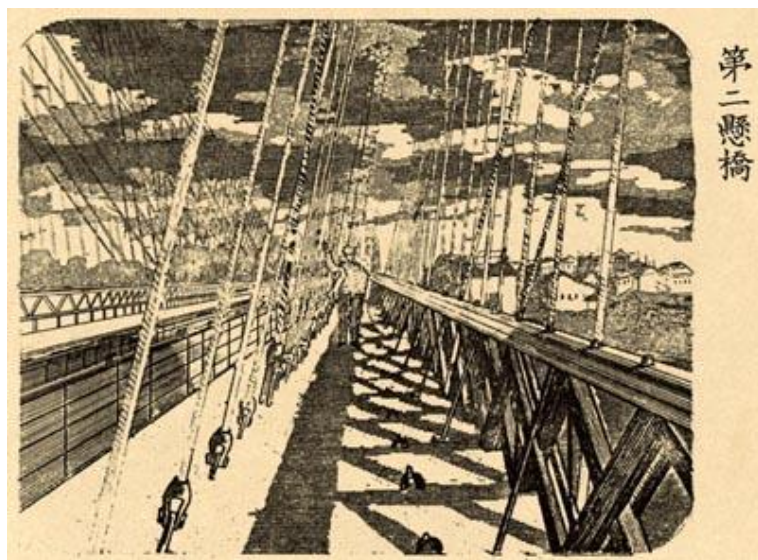


明治五年五月九日

是ヨリ車ヲ回シ、「ゴード」島ヲ出テ、尼亞吉拉ノ街ヲ馳セ、尼亞吉拉峽ノ下流ナル盤渦溪ニ至ル、盤渦溪ハ、瀑布ヲ去ルコト約我二十町ノ下流ナルヘシ、瀑水已ニ落テ、峽流ヲ開キ、水壯ニ峽狭ク、流勢奔逝ス、峽底稍低下スレハ、水即チ驕リ、因テ盤渦溪ヲナセリ、此処ノ地峽ハ、水ヲ出ルコト較高ク、岩壁ハ水ヲ挟ミ峭立スルコト百八十尺ニ及フ、峽水ノ流レハ、此ニ至リ峽岸ノ屈曲ニアフテ、乍チ一頓シテ却回スル勢ニヨリ、激シテ又返リ、一ノ盤渦状ヲナスナリ、岸上ハ平原ニテ、樹林茂リ人家アリ、此ヨリ俯瞰スレハ、懸崖削ルカ如シ、曲折ノ梯子、数百級ニシテ、水浜ニ達ス、峽底甚タ深ク、一潭ヲタへ、水ハ深碧色ニテ盤渦シ、巴字状ニ回流シ、殆ト去路ナキカ如ク、水岸ニハ水ノ衝激ニ因テ、転シ来ル所ノ巨岩大石、磊塊トシテ堆積ス、是盤渦溪ノ勝ナリ



## 第二懸橋



明治五年五月九日

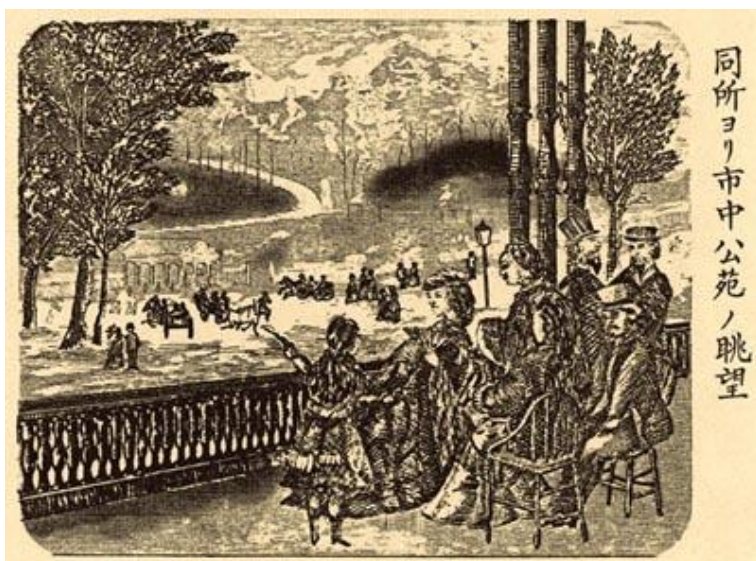
瀑水ト盤渦溪ノ間ニ、兩橋ヲ架ス、一ハ溪ノ上流ニアリ、四条ノ巨鍊索ヲ以テ、尼亞吉拉ノ岸ヨリ、加拿他ノ岸ニ張ル、其長サ殆ト二百五十間、之ヲ橋柱ニカエ、懸橋ヲ造ル、其製作甚タ堅牢ニテ、右ニハ馬車ヲ走ラシ、左ニハ鍊軌ヲシキ、蒸気車ヲ往返ス（銅版図ヲミルヘシ）、其堅牢如此ナレトモ、外面ヨリ望メハ、一ノ長橋、四繩ヲ頼ミテ懸ルノミ、其一ハ瀑布ヲサル約百余間ノ下流ニアリ、只兩条ノ鍊索ヲ以テ鉤懸ス、傍ヨリ觀レハ、長綱ヲ断崖二百尺上ニ張ルカ如シ、橋ヨリ俯瞰スレハ、峽水ハ瀑ノ余勢ヲ帶ヒ、泡沫ヲ漂シテ橋下ヲ流レ、深淵ニシテ鴨綠ヲ凝ス、顧瞻スレハ、兩崖ノ岩壁崩レル如クニ敬ツ、此橋上モ亦馬車ヲ驅リ去ヘシ、我一行ノ車、七輛ヲ連ネ、此橋ヲ渡リシニ、其中腹ニ及フトキ、橋細ニシテ峽深く、縹緲トシテ空ヲ行クカ如ク、橋身動揺シ、衆ミナ惴惴トシテ汗冷カナリ、其危クシテ奇ナル、前橋ニ比スレハ更ニ勝味アルヲ覺フナリ、往年歐洲ノ輕業師、拿破倫トカ呼ルハ、大坦無敵ノ術ニ得タルモノ、此峽ニ綱渡リヲナセシコトアリ、其輕業師ハ、今モ現在シ、後新約克府ニテ綱渡ヲナシタルヲミタリ



## 「サラトガ」大逆旅苑



## 同所ヨリ市中公苑ノ眺望



明治五年五月十日

「シラキューズ」府ヲスキ（前卷ニ記ス）、「サラトガ」邑ニ至リ、「グランド、ユニオン、ハウス」ニ宿ス、

「サラトガ」邑ハ、避暑場ナリ、夏時ニ至レハ、遊客ノ来集スルニ因テ、名所トナレリ、他ノ生理ナシ、「ホテル」ノ大ナルコト目ヲ驚カス、此「ユニオンハウス」ハ、其最大ナ

ル旅館ニテ、室房ノ数、一千番ニ及フ、中央ニ広庭ヲ囲ミ、緑樹蔚茂シ、旅客朝夕ニ盤游スルヘシ、会食堂ハ二千人ヲ容ルヘシ、又会集堂及ヒ、舞踏堂皆広濶ヲキハム、会食ノ後ニ、旅客此ニ集リ、洋琴ヲ弾シテ舞踏ヲナス所ナリ、屋造精美ナラサレトモ、其廣大ナルハ、前後ニ曾テミサル大館ナリ、仏国巴黎ノ「ガランドホテル」モ、其半ニ及フノミ、只数個ノ薬泉ノ利ニヨリテ、如此キ大旅館ヲ設ルハ、避暑ノ地ニ、遊客ノ多キコト、実ニ夥多シキヲ知ルヘシ

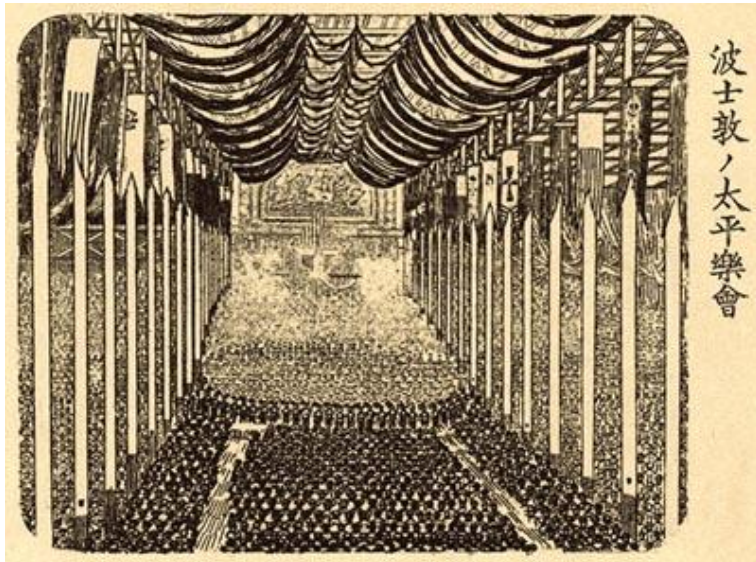
## 波士敦ノ「ビーコン」街



明治五年五月十三日

「コンモン」苑ノ前ハ岡阜ニ向ヒ、下ニ一条ノ大街アリ、「ペーコン」街トイフ、半面ハ鉄欄ヲ隔テ苑ニ境ヒ、半面ハ岡ヲ負フテ、家屋ヲ構フ、ミナ府人ノ私宅ナリ、鉄欄ニソフテ、並木ヲウエ、枝条尽ク大陰ヲナシテ、街路ヲ覆フ、清冷ノ氣、人衣ヲ襲ヒ、遙ニ十数町ニ連ル、亦快美ナル街路ナリ

## 波士敦ノ太平樂会

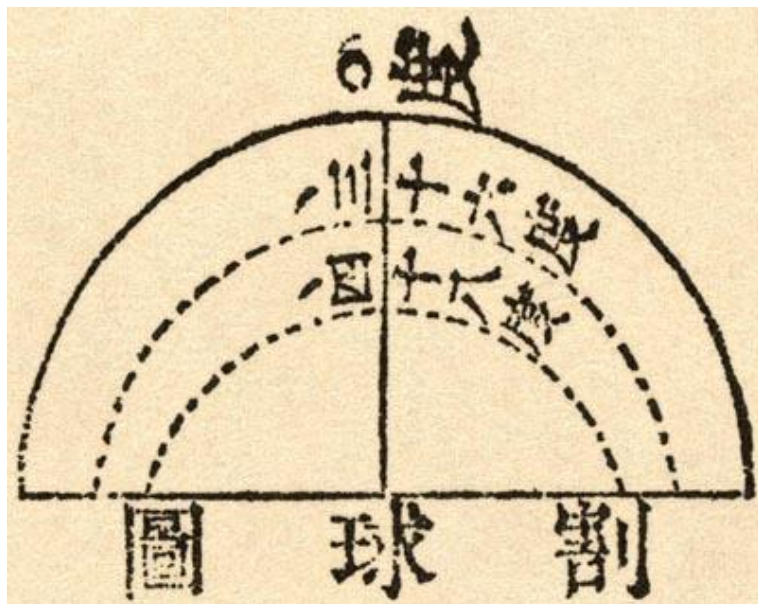


明治五年五月十三日

二時ヨリ、太平樂会ニ赴ク、是ハ州民相会シ、四海ノ昇平ヲ慶セント、今回興行セシ盛会ナリ



## 割球図



明治五年六月二十三日

落機山ノ以西ハ、漠野千里ナレトモ、「シイルラ、ネヴァタ」山ノ綿互ニテ、道路ヲ阻隔ス、然ルニ武達部ノ塩湖ヨリ西北、「オレゴン」州ノ野ハ、地勢平坦ニテ「ネヴァタ」ノ山モ散漫シ、極北ノ華盛頓部、北緯四十八度ノ地ニ港湾アリ、甚タ安穩ナレハ、以テ東洋交通ノ北門トナスヘシ、此ヨリ日本支那ニ航海スレハ、地球ノ中帯ヲ離ルハニヨリ、割円球ノ理、航海線ヲ縮メテ自ラ日本支那ト近距離トナルナリ、故ニ塩湖ノ北ヨリ岐ヲ分チ、今度「オレゴン」ノ漠野ニ、鉄道ヲ架設シ、此港ヲ興サント、測量已ニ成レリト言ヘリ



## 「ヒラデルヒヤ」ノ独立会堂



明治五年六月二十五日

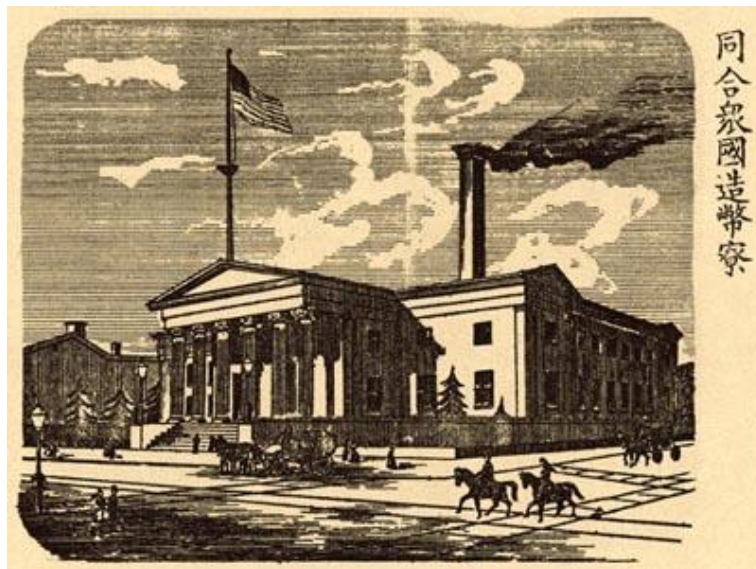
晴

朝十時ヨリ駕シテ、国初ノ議政堂ニ至ル、此堂ハ「チュストナツト」街五町目ニアリ、国初英ヲ拒絶シ独立ノトキマテハ、十三州ノ代人ニテ、国党政府ヲ設ケ〈「レボリユーショナルガバンメント」〉、高名ナル絶英ノ檄文ハ此堂ニ於テ起草シ公布シタリ、其草案ヲ蓄蔵スルト云、爾後ニ「コンフィデレーション」ノ政治ヲ協約シ、此ヲ各州委員ノ會議堂トナシ、此約束ノ時マテハ、各州ミナ徴税ノ権利ヲ確守シ、固リ一毫ヲ国会ニ仮サス、興軍、徴兵モ、勝手勝手ニテ、此堂ニテ全国ニ法則ヲ協議宣布スル各州委員ハ、毎ニ費用ヲ本州ヨリ受取り、以テ非常ノ大戦ニ供給シ、時ニハ臨機緩急ノ際ニ臨ミテ、自費代償スルニモ至リシトナン、今ハ堂堂タル聯邦憲法ノ下ニ、大國會ヲ設ケ、三億七千万弗ノ歳入ヲ収メ、盛ヲ世界ニ鳴セトモ、其起源ハ、此議政堂ニ、愛国ノ士カ集会シ、辛苦經理シテ、自主ノ権利ヲ保持セリ、其時ノ景況ハ、如何ナリシヤト想像ナセリ、

此議政堂ノ建築ハ、全壁ミナ煉火石ニテ疊ミ上ケ、古朴清楚ノ造構ニテ、建築ニ多少ノ匠心ヲ尽シ、風致多ク、且此処ハ、独立ノ際ニ於テ、高名ノ故蹟ニモアレハ、旅客ノ第一番ニ見物スル所ナリト云、堂中ニ巨鐘ヲ蔵ス、是ハ独立ノ戦争ニ至ル以前、英国ヨリ数度ノ虐政ヲウケタリシトキ、州中ノ民此鐘ヲ撞タテ、悲哀ノ音ヲ鳴シ、遂ニ撞破リタリ、今ニ破拆ノマヽニテ蔵ス、其他当時ノ英傑、華盛頓氏始メノ画像アリ、独立ノトキニ檄文ヲ草シタル卓案モ、比ニ蔵セリト云、堂ノ中央ニ高塔アリ、時計ヲ仕掛ケタリ、堂内ヨリ、螺

旋ノ階ヲ設ク、其階ヲ拾フテ、最上層ニ上リ、暫ク府中ヲ目下ニ一覽ス、其室ノ濶サモ、  
十五六人ヲイレテ余リアリ、其高サハ間フヲ失セリ、亦百尺以上ナルヘシ

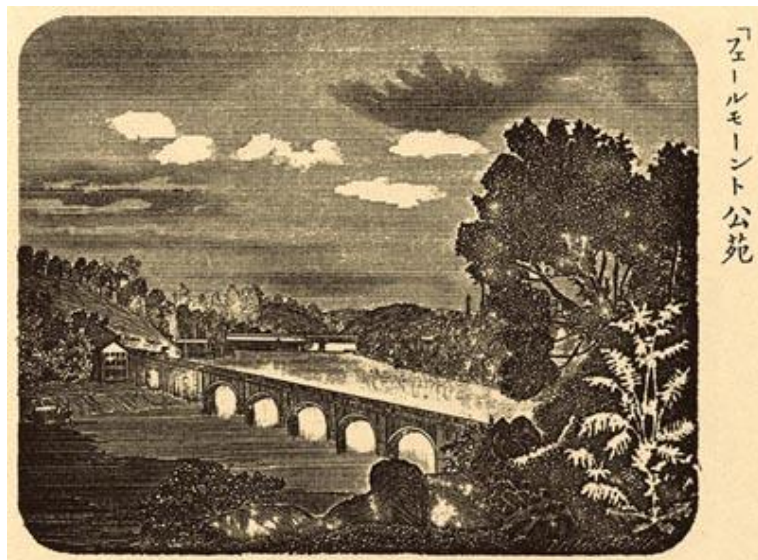
## 同合衆国造幣寮



明治五年六月二十四日

朝九時、馬車ニ駕シテ、造幣寮ニ至ル、寮ハ「チェストナツト」街ニアリ、米利堅全国ノ三品幣ヲ此ニテ製ス、銀貨幣ノ製作一般ヲ示シタリ、棹銀ヲ「ロール」ニテ引展ヘ、薄片トナシ、円規ノ刃ヲ圧下シテ截断シ、之ヲ削リ、之ヲ印型ニ圧スル等、各一場ヲ設ケ、次第ニ通致シ、混雑ヲ防ク、場場ニテ検査シ、戸締リヲ厳ニシ、胡乱ナカラシム、総テ製作場ノ設ケハ、間繰リ、戸締リ、検査ノ手合せ、皆間繰ノ注意ヲ緊要トス、造幣ノ如キハ、軽小ニ高価ナル物ノ取扱ヒヲ為ス場ナレハ、間繰ニ注意ヲナスコト、殊ニ厳密ヲ要スルモノナリ、今此寮ヲ巡ルニ、固リ其手締リハ、一一嚴重ナレトモ、製場ノ戸外ハ、通街ト覺ヘテ、玻璃ノ外ニ、多人ノ往来ヲミル、或ハ場内ノ職人ニ、悪心ヲ導クコトアランカト、頗ル怪疑ヲ生シタリ

## 「フェールモント」公苑



明治五年六月二十四日

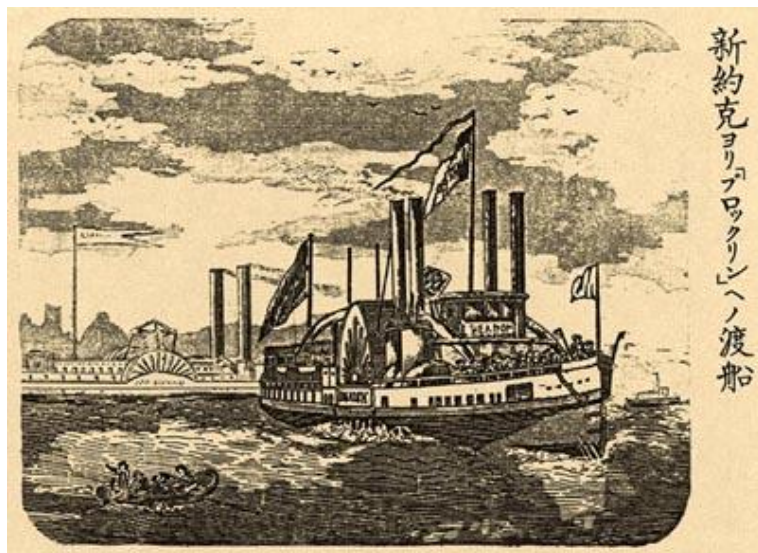
夫ヨリ「フェヤモント、パーク」ニ至ル、「フェヤモント、パーク」ハ「スクイケル」河ヲ抱キタル、双岸ノ岡陵ニシテ、頗ル山水ノ壯觀ヲ具セシ景地ナレハ、仮山ノ經營ヲ仮ラス、天然ニヨリ修メテ公苑トセリ、故ニ天真爛漫トシテ、意味深遠ノ勝致アリ、大河ノ流レニ因テ泉石ノ設ケヲ託ス、大橋ヲ横へ、蒸気車ヲ走ラシ、岾角水嘴ヲ修メテ、臨水ノ觀ヲ快クシ、遊亭ヲ建テ、嘉樹ヲウエ、佇立シ前岸ヲ望メハ、屋廬麟ヲ乱シ、高塔岡ニ拠リテ起ル、山清クシテ水浄シ



「アーク」街ノ景



## 新約克ヨリ「ブロックリン」ヘノ渡船



明治五年六月二十五日

新約克府ハ「ホッソン」河口ヲ挟ミ、前岸長島ノ「ブロックリン」府ト相對シ、共ニ新約克州ノ貿易都府ナリ、新約克府ハ、合衆国第一ノ都会ニテ、「ブロックリン」府ハ第三ノ都会ナリ、之ヲ併セテ海口ノ繁花ヲナセリ

## 新約克「ブロード、ウエー」ノ繁花



### 「シュワルト」社ノ商店



明治五年六月二十六日

夫ヨリ鉄道ノ新駅ニ至ル、蓋シ「シュワルト」氏ノ建築セル所ナリ、米国ノ鉄道ハ建築ヲ粗ニシテ、簡便ヲ尚フ、故ニ駅舎ノ屋造モ亦粗大ニシテ、多クハ木製ノ廩舎ヲ建テ、雨露ヲ防クニ止ルノミ、此新駅ノ造営ニ至リテハ、宏大精麗ヲ尽シ、聚然タル大建築ナリ、

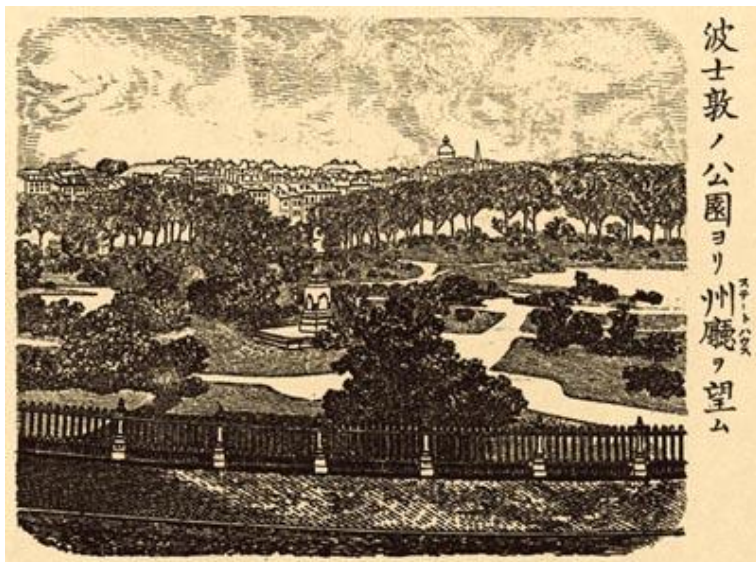
夫ヨリ「シュワルト」氏ノ商店ニ至ル、「ブロードウエー」ノ通りニアリ、此一街ニハ豪商檐ヲ比へ、大廈ノ多キ、往来ノ繁キ、商買ノ盛ナル、一小店ノ下層ノミヲ借り開店スル

モ、年ニ店賃五六千弗ヨリ下ルハ希ナリ、如此キ要劇ノ街ニ、「シュワルト」氏ノ商店ハ、一町一域ヲ専ラニシテ、五層楼ヲ起ス、造営ハ多ク鍍材ヲ用ヒ、窓眼面面ニ爽朗ヲ主トシ、正中ヲ空洞ニシ、玻璃ヲ以テ上宇ヲ張り、此ヲ書記局トス、四面ノ層ハ之ヲ囲ミテ、布帛、綢緞、綾羅、錦繡ヨリ、衣服房寢席氈ノ具マテ、室ヲ分ツテオク、其建築ノ費、五百万弗ヲ用ヒタリ、此店ニテ売買スル布帛ハ、「シュワルト」氏ノ家業ヲ、此ニ頼ムニハ非ス、只屋造ヲ壯ニシ、貨物ヲ備ヘテ、新約克府ノ繁昌ヲ盛ニシ、景氣ヲ目的トセルニヨリ、年々ノ利益ヲ算スレハ、甚タ些少ニテ、殆ト得失ヲ償ハサルニ近シト云、

「シュワルト」氏ハ、当年八十一歳、家産ハ八千乃至一億弗ニモ及フ豪富ニテ、元ハ田舎ヨリ菜果ヲ舟ニ積ミ、運河ヲ上下シ、府内ノ市場ニ販売スル小民ナリシニ、運舟ノ中ニアリテ、商業ハ運漕ノ関係甚タ大ナルヲ悟レリ、自主ノ後（年二十一以後ナリ）、蒸気船ノ發明ニアヒ、運漕会社ヲ設ケ、機ニ投シ利ヲ得テ、漸々富ヲ興シ、圧瀾洋ノ運漕ヲ盛大ニナシ、年四十ノ頃ハ、已ニ府中ノ豪富トナリタリ、此時運漕船舶ノ会社、年々ニ昌ヘ、人ミナ競フテ此業ヲ開クヲ見テ、「シュワルト」氏ハ以謂フ、是利益漸ク減スルノ機ナリト、別ニ業ヲ転センコトヲ謀ル際ニ、又鍍道發明ノ機ニアヒ、是ヨリ暗ニ此ニ注意ヲ転シ、徐徐ト船舶ヲ売リテ、鍍道建築ニ財ヲ竭シ、十余年ノ後ハ、此人ノ手ニ一船ナク、而テ鍍道ハ、已ニ米國ニ蛛網ヲナシタリ、爾來四十年間ニ、益其業ヲ広メ、市高俄ヨリ新約克ヘノ往来ニカハル鍍道モ、此人ノ所有ナルノミナラス、新約克州ノ鍍路ハ、多ク此人ノ所有ニカハル、故ニ其所有産ノ総高ハ、八千万弗ト称スレトモ、実ハ一億弗ニモ上ルヘシ、其實數ヲ挙クルコトハ、本人ニテモ能ハサルベシトイフ、文化ノ開ケニ際シ、運漕ノ利益ヲ生スル、一ニ此ニ至ル、識者ノ深く察スヘキ要項ナリ



## 波士敦ノ公園ヨリ州庁ヲ望ム



明治五年六月二十八日

薄暮

朝五時半ニ、「ロードアイランド」州ノ「プロヴィテンセ」港ニ着シ、是ヨリ蒸気車ニテ北走シ、八時ニ波士敦府ニ着シ、旧旅館ニ宿ヲ定ム、

波士敦府ハ、「マッサセッチュ」州ノ首府ニテ、米国ニテ製作ニ名アル地タリ、其地ハ北緯四十二度二十分、西経七十一度五十四分ニ位シ、圧瀾海面ニ斗出シタル、海角ノ島嶼ヲ綴リ合セテ、此府ヲ開ク、故ニ地面ハ平地多ク、中ニ平坡ノ如ク岡阜ノ起レル処アリ、其岡上ニ州ノ「カピトル」〈議政堂〉ヲ建ツ、海浜ヨリ望メハ「ペーコン」街ノ岡阜ニ、其中央ノ円塔カ、烟臺ノ上ヨリ突兀タルヲミル、全府ノ形勝ハ此ヨリ俯瞰スベシ、「ペーコン」街ニハ游苑ヲ設ク、跳水池、及ヒ泉石橋砦ノ設ケ甚タ美ナリ、花卉芬芳トシテ、淨沙雪ノ如シ

## 同上ノ市街



明治五年六月二十八日

此府ハ古キ都会ニテ、昔時英ヲ絶テ独立ノ比ハ、二千人ノ都邑ニテ、独立ノ論ヲ首唱セル所ナリ、故ニ合衆政治ノ創業ニ於テ、最モ歴史ヲ多ク有セリ、一千八百五十年マテハ、四万三千人ナリシニ、六十年ニ八十七万七千八百人ニ及ヒ、七十年ニ八二十五万三千三百二十三名ニ及ヘリ、府内ノ地積モ、元ハ只八百「エーカー」ナリシニ今ハ千四百「エーカー」ニ拡充シ、地代ノ貴キコト、一尺平方ニ付、一千五百十三年マテハ、一弗十七錢ナリシニ、六十五年ニ至リテハ、二弗八十錢ニ至レリ、海湾ノ浅淤ナル所ハ、土ヲ築キ出シテ、漸次ニ陸トナシタル所多シ